1ビットデジタルシステム

形名 SD-CX8（エス ディー シーエックス）

取扱説明書

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用の前に、**「安全に正しくお使いいただくために」**を必ずお読みください。
この取扱説明書は、保証書とともに、いつでも見ることができるところに必ず保存してください。

もくじ

1章 はじめに

2章 使う前の準備

3章 CD・MD・ラジオの聞きかた

4章 MDへの録音

5章 CDやMDのいろいろな聞きかた

6章 MDの編集

ページ

7章 タイマーの使いかた

ページ

8章 他の機器との使いかた

9章 ご参考

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
	人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味

この記号は**気をつける必要がある**ことを表しています。

この記号は**してはいけない**ことを表しています。

この記号は**しなければならない**ことを表しています。

⚠警告

電源について

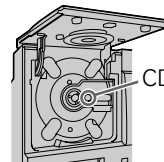
AC100V以外の電源電圧では使用しない

火災・感電の原因となります。

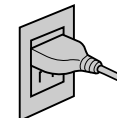
外国では使用しない

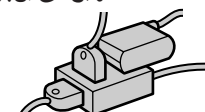
この製品を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用しないでください。(This unit cannot be used in foreign countries as designed for Japan only.)

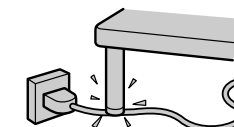
CDピックアップについて

CDピックアップの光源を直視しない

目を痛める原因となります。

電源コードについて

付属以外の電源コードは使用しない

火災・感電の原因となります。

タコ足配線はしない

発熱により、火災の原因となります。

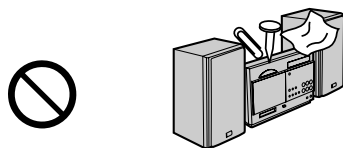
コードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っぱったり、加熱したり、加工したり、重い物を乗せたりしない

電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

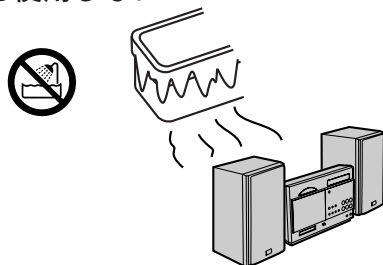
電源コードが傷ついたときは…
販売店に交換をご依頼ください

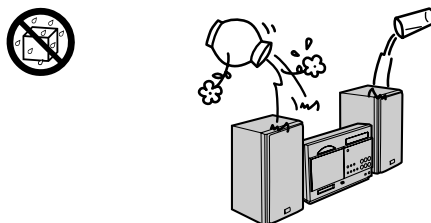
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠警告

内部に物や水などを入れない

開口部（ディスク挿入口やスピーカーダクトなど）から金属類や燃えやすい物などを入れない

火災・感電・けがの原因となります。
特にお子様のいる家庭ではご注意ください。

風呂場や雨にあたる所、湿気の多い所では使用しない

火災・感電の原因となります。

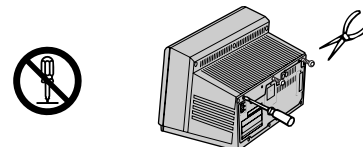
近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かない

こぼれたり、中に入ると、火災・感電の原因となります。

内部に水や異物などが入ったときは…

電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

キャビネットについて

キャビネットを開けたり、改造しない

火災・感電・けがの原因となります。
また、レーザー光が目に当たると目を痛める原因となります。
内部の点検・調整・修理は、販売店にご依頼ください。

異常が起きたら

万一、異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常な状態に気がついたときは…

電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください

異常な状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。

雷について

雷が鳴りだしたら…

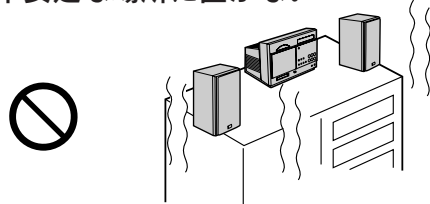
安全のため、製品にさわらないでください

感電の原因となります。

安全に正しくお使いいただくために（続き）

⚠注意

置き場所について

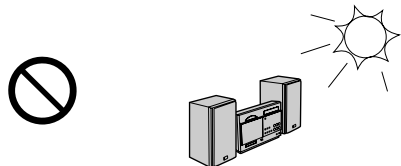
不安定な場所に置かない

落ちたりして、けがや故障の原因となることがあります。

油煙や湯気が当たるような場所に置かない

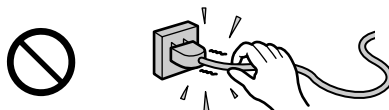
火災･事故の原因となることがあります。

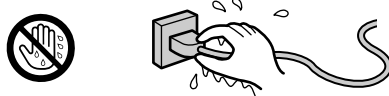
冷気が直接吹きつける所や、極端に寒い場所に置かない

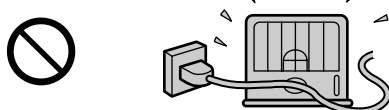
露がつき、漏電・焼損の原因となることがあります。

直射日光が長時間あたる場所や、暖房器具の近く、火気の近くには置かない

火災・事故の原因となることがあります。

電源コードの取り扱いについて

プラグを抜くときはコードを引っぱらない

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

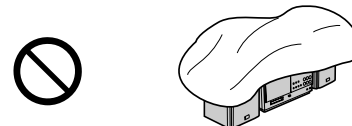
濡れた手でプラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近づけない

コードの被覆がとけて、火災・感電の原因となることがあります。

コンセントへの差し込みがぐらついていたり、プラグやコードが熱いときは使用を中止する

火災・感電の原因となることがあります。

ご使用について

風通しの悪い状態で使用しない
また、布や布団でおおったり、つつんだりしない

熱がこもり、キャビネットが変形し、火災の原因となることがあります。

この製品の上に物を置かない

キャビネットが変形して、火災・感電の原因となることがあります。

特殊な CD について

特殊形状（ハート型や八角形など）のディスクは使用しない

高速回転によりディスクが飛び出し、けがをするおそれがあります。

注意

移動するときは

電源を切り、電源コードやアンテナ線、接続コードを抜いてください

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

お手入れのときは

安全のため必ず電源を切り､電源コードをコンセントから抜いてください

感電やけがの原因となることがあります。

長期間ご使用にならないときは

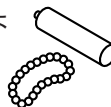
安全のため必ず電源を切り､電源コードをコンセントから抜いてください

CD カバーについて

CD カバーが開閉中は、指などをはさまないよう注意してください

乾電池の取り扱いについて

乾電池は誤った使いかたをしますと､感電･破裂･発火の原因となることがあります。また、液もれをして機器を腐食させたり､手や衣類などを汚す原因にもなります｡次の点に特に注意してください｡

- **新しい乾電池と一度使用した乾電池をまぜて使用しない**
- **金属小物（かぎ・装飾品・ネックレス・コイン等）といっしょにポケットやかばんなどに入れない**
- **水に濡らさない**
- **加熱したり、火の中へは絶対に投げ込まない**
- **分解しない**
- **ハンダ付けしない**
- **端子をショート（短絡）させない**
- **種類のちがう乾電池をまぜて使用しない**
- **充電池（ニカド電池等）は使用しない**

- **乾電池が使えなくなったり、長い間使わないときは、乾電池を全部取り出しておいてください。**

- **乾電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを､表示どおり正しく入れてください｡**

もし､液がもれた場合は､乾電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。
万一､もれた液が身体についたときは､水でよく洗い流してください。

ヘッドホンで聞くときは

音量の設定に十分気をつける

思わぬ大音量がでて、耳を痛める原因となることがあります。
また､耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

外部アンテナの工事について

アンテナ工事には技術と経験が必要です。
また高いところでの作業は危険です。
取り付ける場合は、販売店に相談してください。

- 大切な録音をする前に､あらかじめ試し録音をして、正常に録音されることを確かめてください。
- 本機を使用中に､万一この製品の不具合により､録音されなかったとき、もしくは消去されたときの内容の補償については、ご容赦ください。
- この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。(☞ P.63)
- お客様または第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いません。

おもな特長

2.8MHzのサンプリングにより、高解像度サウンドを実現する高性能1ビットアンプ搭載

アナログ信号をデジタル信号に変換して増幅する､1ビットアンプを内蔵していますので､迫力のあるサウンドと高音質を楽しむことができます。

MDの2倍・4倍長時間録音・再生「MDLP」対応

高性能な圧縮･伸長処理により､標準録音の2倍･4倍の長時間録音がステレオで可能となり､1枚のMDに最大320分（80分ディスク使用時）まで録音することができます。 （☞ P.24）

MDのグループ録音・再生

歌手やアルバムごとに､グループに分けて録音することができます。 （☞ P.22）

そのMDは、グループを選んで再生することができます。 （☞ P.18）

録音済のMDをグループに分けたり､アルバム名などをつけることができます。 （☞ P.36～43）

CD → MD倍速編集＆充実した編集機能

CDからMDへ、倍速で録音ができます。 （☞ P.23）

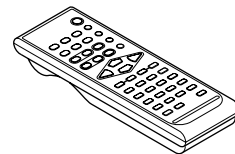
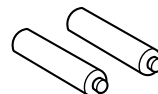
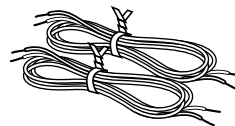
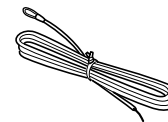
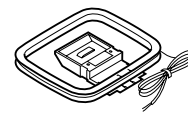
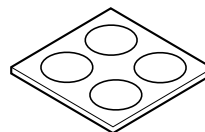
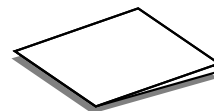
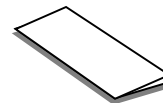
CDの中から好きな曲を選んで、あとから録音（マイトラックエディット）することができます。 （☞ P.26）

CD-R・CD-RW再生

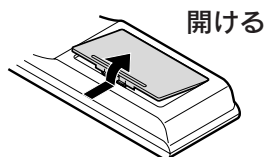
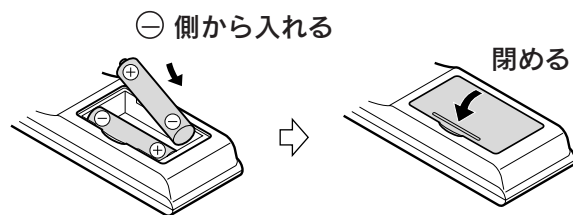
一般のCD以外にも、音楽用CD-R・CD-RWに録音された曲を聞くことができます。

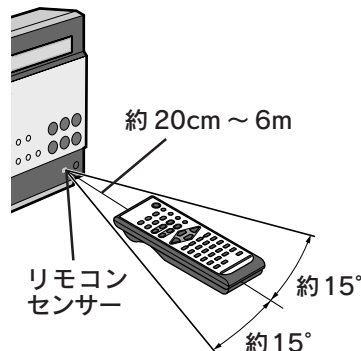
- CD-R･CD-RWの再生は、録音した機器やディスクの状態によって、正しく再生できないことがあります。
  この製品で、CD-R・CD-RWに録音することはできません。

付属品について

付属品がすべてそろっているか、お確かめください。

- この製品は､ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。
- カタログおよび包装箱などに表示されている形名の最後のアルファベットは製品の色を示す記号です。
  色は異なっても、操作方法や仕様は同じです。

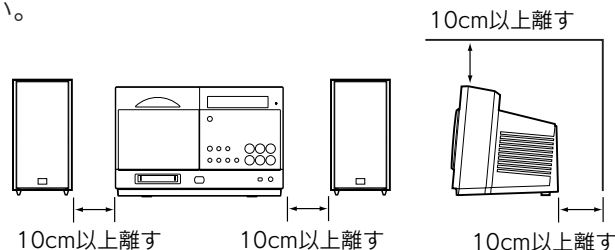
リモコンに乾電池を入れる

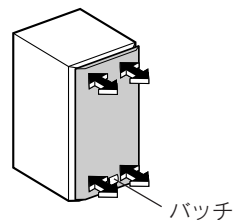
❶ フタを開ける。

❷ 単３乾電池を２本入れる。

• 乾電池の方向に注意して入れてください。
⊕⊖ をまちがえると、故障の原因となります。
• リモコンには充電池（ニカド電池など）を使用しないでください。
充電池では正しく動作しません。

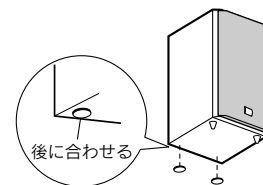
リモコンの使える範囲（目安）

リモコン用乾電池の寿命は通常のご使用で約１年です。
リモコンセンサーに近よらないと動作しなくなったときは、乾電池を交換してください。

• リモコンセンサーに強い光があたる場所では使用しないでください。
誤動作の原因となります。
• リモコンセンサーや送信部にシールなどを貼らないでください。
リモコン操作ができなくなることがあります。

設置について

この製品の背面、側面は熱くなります。放熱をよくするため、システムの間は少し離して置き、壁からも 10cm 以上離して置いてください。

• この製品は、5℃～ 35℃の場所でお使いください。
• スピーカーは防磁タイプではありませんので、テレビにあまり近づけないでください。テレビの画面が色ズレなどを起こすことがあります。
• この製品をテレビ･パソコン･携帯電話などの機器の近くで使用すると、それらの機器やこの製品に雑音が入ることがあります。そのときは、それらの機器の電源を切るか、この製品との距離をできるだけ離してください。
• 振動しやすい場所で使ったり、本体に衝撃を与えると、音とびを起こすことがあります。安定した場所でお使いください。
• **製品を移動させるときは、必ず CD、MD を取り出してください。**
CD、MD が製品の中につまって、故障の原因となることがあります。

スピーカーネットについて

スピーカーネットは、取り外すことができます。

すべり止めシートについて

すべり止めシートをスピーカーの底面に貼り付けてください。

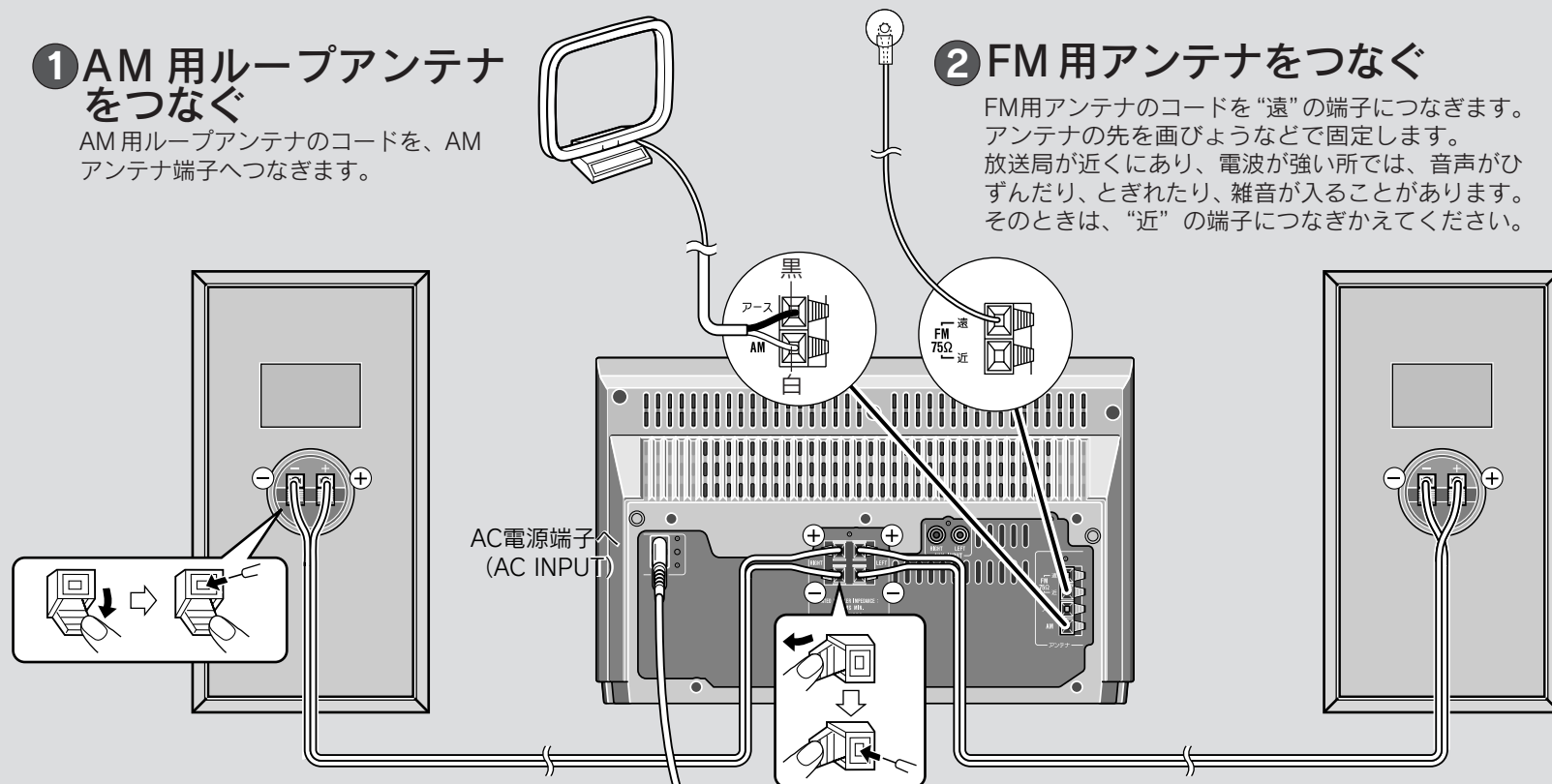
システムを接続する

❶ AM 用ループアンテナをつなぐ

AM 用ループアンテナのコードを、AM アンテナ端子へつなぎます。

❷ FM 用アンテナをつなぐ

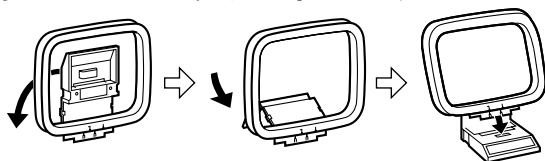
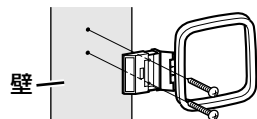
FM用アンテナのコードを“遠”の端子につなぎます。アンテナの先を画びょうなどで固定します。

放送局が近くにあり、電波が強い所では、音声がひずんだり、とぎれたり、雑音が入ることがあります。そのときは、“近”の端子につなぎかえてください。

❸ スピーカーをつなぐ

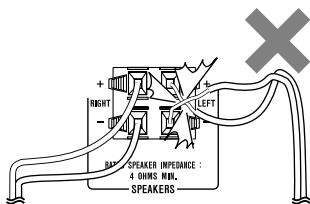
スピーカーコードは、必ずスピーカー側を先に接続したあと、本体につないでください。

❹ 最後に、電源コードをつなぐ

電源コードを AC 電源端子へ差し込み、家庭用コンセントに差し込んでください。

■ AM 用ループアンテナの組立かた

AM用ループアンテナは壁に取り付けることができます。

ネジは付属していません。

■ スピーカーコードをつなぐときのご注意

- スピーカーコードをショートさせないでください。
  電源が入っているときに、誤ってスピーカーコードをショートさせてしまうと、故障の原因となることがあります。

- **スピーカーの接続は、必ず電源コードを抜いてから行ってください。**
- スピーカーコードの ⊕(プラス) と⊖(マイナス)、左と右チャンネルをまちがえないようにつないでください。

■ 電源コードをつなぐときのご注意

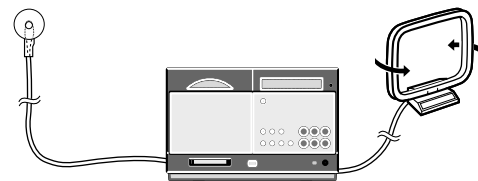
- **付属品以外の電源コードは絶対に使用しないでください。**
  故障や事故の原因となります。
- 電源コードを抜くときは、電源を切ってからプラグを抜いてください。

節電のために

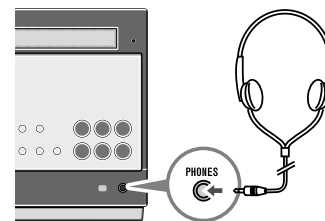
- 旅行などで長時間使用しないときは､電源コードをコンセントから抜いておきましょう。
  電源を切っていても、わずかですが電力を消費しています。
- 電源コードを抜くと、時計が止まり、1 日以上たつと登録した放送局などが消えますので、再度合わせ直してください。

■ アンテナを調整するには

FM 用アンテナ
放送が最もよく聞こえる位置に変えてください。

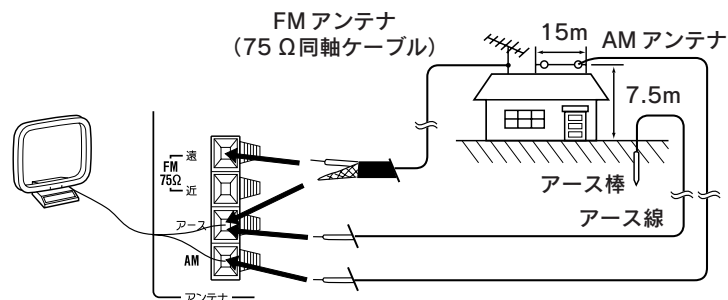
AM 用ループアンテナ
放送が最もよく聞こえる方向にしてください。

- テレビ音声を受信中に“ブー”という音がしたり、同調が不安定になったときは、アンテナを再度調整してください。
- FM・AM 用アンテナは、本体や電源コード、スピーカーコードから離してください。近づけて使用すると、雑音が入ることがあります。

ヘッドホンを使う

- インピーダンス 16 ～ 50 Ω（推奨 32 Ω）で直径3.5mm ステレオミニプラグ付ヘッドホンをお使いください。
- ヘッドホンをつなぐと、スピーカーから音は聞こえなくなります。

音のエチケット

- 楽しい音楽も場所によっては気になるものです。
  ご近所のご迷惑にならないよう､十分気をつけましょう。
- 夜間にお使いになるときは、ご近所のご迷惑にならないよう、音量を小さくするか、ヘッドホンでお楽しみください。
- ヘッドホンをご使用になるときは、耳をあまり刺激しないよう音量を小さくしてお楽しみください。

屋外アンテナの接続

付属のアンテナでラジオ放送がきれいに聞こえないときは、屋外アンテナを設置することができます。

- アンテナ工事には、技術と経験が必要です。また、高い所での作業は危険です。設置するときは、販売店に相談してください。
- AM 用外部アンテナを接続するときは、AM 用ループアンテナを接続したままにしておいてください。

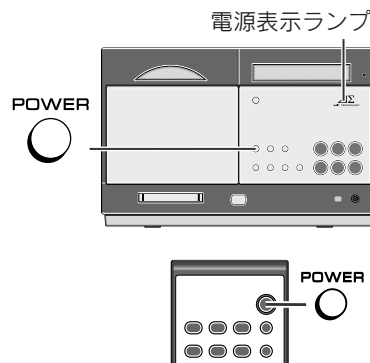
屋外アンテナの設置場所について

- 放送局の送信アンテナがある方向に立てます。
- ビルや山のかげなど、障害物がある所では、最もよく受信できる所に立てて方向も変えてみます。
- 自動車や電車の雑音が入らないよう、道路や線路から離れた所、またはそれらが見えない所に立てるようにしてください。
- 送電線の下には立てないでください。
  送電線にアンテナが触れると大変危険です。
- 落雷のおそれがありますので、あまり高い所には立てないでください。

アース棒について

アースの接続（接地）は、万一の感電事故を防止することができます。
アース棒を地中に埋めるか、または鉄製の水道管につないでください。
危険ですので、ガス管にはつながないでください。

電源を入れる

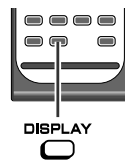
■ 電源を入れるには

電源表示ランプ
POWER

［POWER］を押す。

電源を切るには…

もう一度、［POWER］を押す。

- 電源が入ると、電源表示ランプが点灯します。
- 電源が入らないときは、電源コードが正しくつながっているか、リモコンの乾電池が正しく入っているか、確認してください。
- 電源を切ったあとの２～３秒は、すぐに電源が入りません。

■ 表示部の明るさを変えるには

電源を入れて…

［DISPLAY］を２秒以上押す。

押すたびに切り換わります。

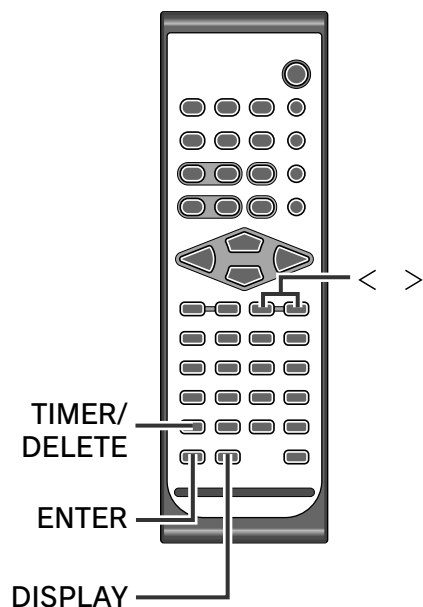
表示を暗くする

DIMMER ON

表示を明るくする

DIMMER OFF

時計を合わせる

時刻を合わせると、時計としてはもちろん、タイマー再生やタイマー録音ができるようになります。

（例）午前９時30分に合わせるとき

1 電源を入れて…

［TIMER/DELETE］を押す。

SLEEP 1:00

2 10秒以内に…

［<］または［>］を押して、“TIME ADJUST”を選ぶ。

TIME ADJUST

3 10秒以内に…

［ENTER］を押す。

AM 0:00

4 **［<］または［>］を押して、“時”を合わせ、［ENTER］を押す。**

AM 9:00

「時」を合わせる

時刻は12時間制で表示されます。午前（AM）／午後（PM）の表示に注意してください。

AM 0：00→夜の12時　PM 0：00→昼の12時

5 **［<］または［>］を押して、“分”を合わせ、［ENTER］を押す。**

AM 9:30

「分」を合わせる

時計が動作し始め、約1.5秒たつと、もとの表示に戻ります。

■時刻を確認するには

電源“OFF”のときは…

［DISPLAY］を押す。

時刻が表示されて、約５秒たつと消えます。

電源“ON”のときは…

1. ［TIMER/DELETE］を押す。
2. 10秒以内に、［<］または［>］を押して、時刻を表示させる。

   約10秒たつと、もとの表示に戻ります。

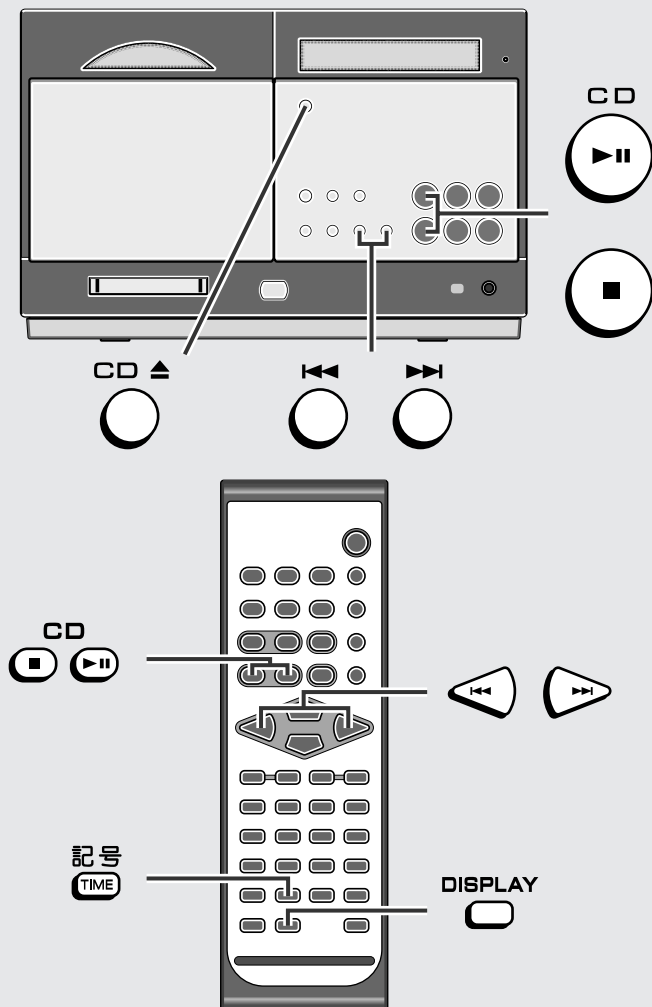
■時刻を修正するには

操作１からやり直してください。このとき、操作１では“SLEEP”のかわりに“STANDBY”と表示されます。また、操作２では“TIME ADJUST”のかわりに現在の設定時刻が表示されます。

ご注意……………………

電源コードを抜いたり、停電があったときなどは、時計の設定は消えてしまいます。

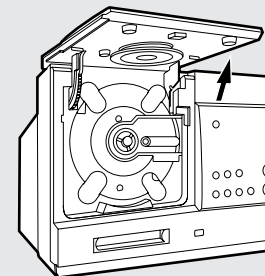
時計を合わせ直してください。

ＣＤを聞く

1 電源を入れて(☞ P.12)…

[CD ■] を押して、入力を「CD」にする。

2

[CD ▲] を押す。

CD カバーが開きます。

3

CD を入れる。

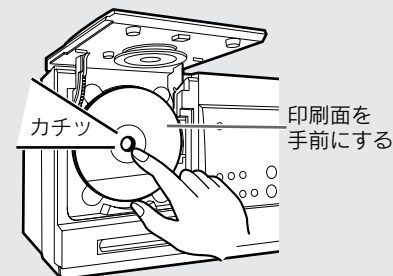
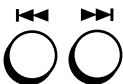
CDに傷をつけないように、確実に装着してください。

4

[CD ▲] を押す。

CD カバーが閉じます。

CD TOTAL DISC 12 53:24
総曲数　総再生時間

5

[CD ►II] を押して、再生を始める。

- 1 曲目から再生が始まり、最後の曲が終わると停止します。
- CD カバーが開いているときに [CD ►II] を押すと、CD カバーが閉じて再生が始まります。

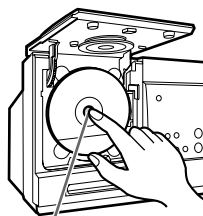
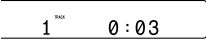
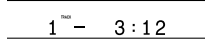
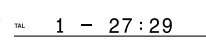
■音量や音質を調整する ☞ P.21

■ CDの再生中にできる操作

停止するには	CD ■	再生中に押す。
一時停止するには	CD ►II	再生中に押す。 もう一度押すと、止めた位置から再生します。
曲の頭出しをするには	I◄◄ ►►I	再生中または、停止中に押す。 停止中に聞きたい曲番を選んだあと、再生を始めるとその曲から再生します。
早送りや早戻しをするには	I◄◄ ►►I	再生中に押し続ける。 ボタンから指を離すと、その位置から再生します。

■ CDを取り出すには

❶ CDを停止させたあと、[CD ⏏] を押す。

❷ 中央のCD取りはずしボタンを押して、CDを取り出す。

CD取りはずしボタン

❸ [CD ⏏] を押して、CDカバーを閉じる。

CDカバーが開いているときに、電源を切ると、CDカバーは閉じます。

■ 時間表示を切り換える

再生中に、リモコンの［TIME］を押すたびに、切り換わります。

1 0:03 ⇨ 1 − 3:12 ⇨ 1 − 27:29

曲ごとの再生経過時間　曲ごとの再生残り時間　総再生残り時間(※)

（※）ランダム再生中は、表示しません。

停止中に、リモコンの［TIME］を押すたびに、切り換わります。

2 3:27 ⇔ TOTAL 2 − 24:17

選んだ曲の再生時間　選んだ曲以降の総再生残り時間

■ レベルメーターに切り換える

再生中に、リモコンの［DISPLAY］を押すたびに、切り換わります。

► 1 0:30 ⇔ ► L R

再生経過時間　レベルメーター

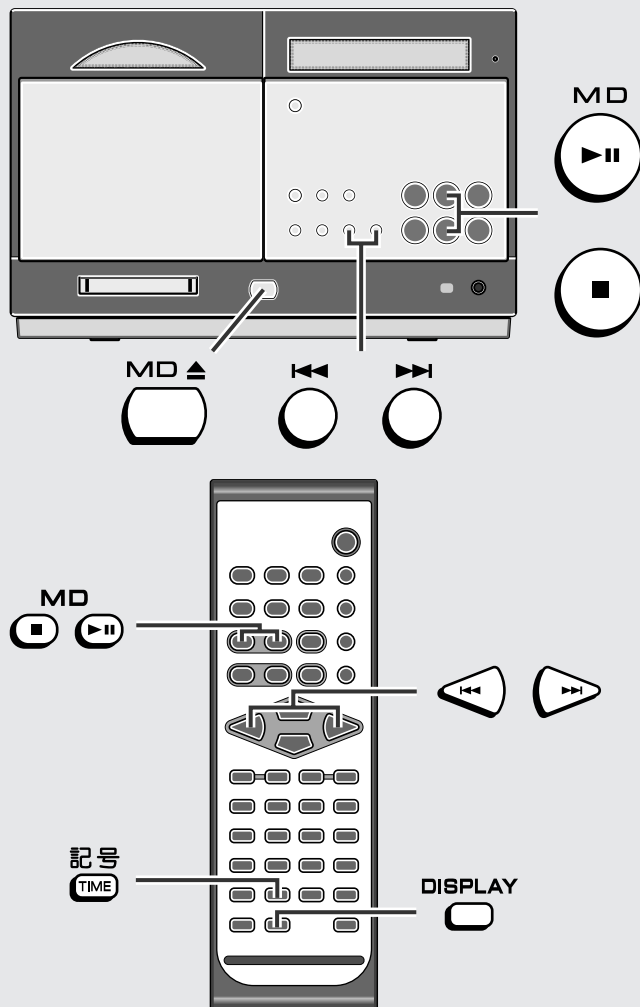
レベルメーターを表示すると、再生中はその表示になります。

ご注意

CDカバーは、手で無理に止めたり、動かしたりしないでください。
故障の原因となります。また、開閉中に指などをはさまないように注意してください。

お知らせ

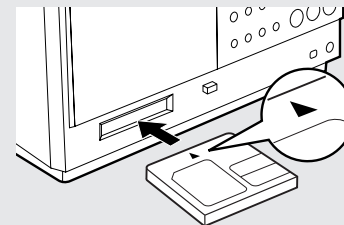
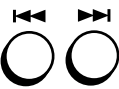
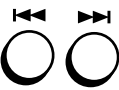
- CDの内容によっては、音量の上げすぎで音とびをおこすことがあります。
  そのときは、音量を下げてお聞きください。
- ジャケットなどに記載されている再生時間には、曲間の無音時間が含まれていないものもあります。そのため、この製品での表示内容と合わないことがあります。
- 再生中の経過時間や残り時間の表示は、実際の時計の時間と異なることがあります。
- CD-R・CD-RWの再生は、録音した機器やディスクの状態によって、正しく再生できないことがあります。
  そのときは、CD-R・CD-RWを録音する機器の録音／記録スピードや、使用するディスクを換えてみると、再生可能になることがあります。
  くわしくは、録音する機器の取扱説明書をごらんください。

MDを聞く

1

電源を入れて(☞ P.12)…

[MD ■］を押して、入力を「MD」にする。

2 MD を入れる。

ラベル面を上にして矢印マークの方向にMDを入れてください。

ディスク名（ディスク名が記録されている MD のみ表示）

総曲数　総再生時間

- モノラル録音や2倍・4倍長時間録音（ステレオ）で録音された曲も録音されたときの録音モードに合わせて再生できます。(☞ P.24)
- グループで録音した MD を入れた場合は、自動的にグループモードになります。(☞ P.18)

3 ［MD ►II］を押して、再生を始める。

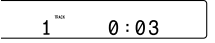
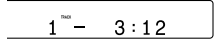
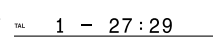
1 曲目から再生が始まり、最後の曲が終わると停止します。

■音量や音質を調整する ☞ P.21

■ MDの再生中にできる操作

停止するには	MD ■	再生中に押す。
一時停止するには	MD ►II	**再生中に押す。** もう一度押すと、止めた位置から再生します。
曲の頭出しをするには	◄◄ ►►I	**再生中または、停止中に押す。** 停止中に聞きたい曲番を選んだあと、再生を始めるとその曲から再生します。
早送りや早戻しをするには	◄◄ ►►I	**再生中に押し続ける。** ボタンから指を離すと、その位置から再生します。

■ MDを取り出すには

MDを停止させたあと、［MD ⏏］を押す。

ご注意……………………………………………………………………

MDを入れるときは、必ず電源を入れてください。

電源が切れているときに、無理にMDを押し込むと、故障の原因となります。

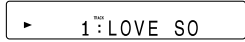
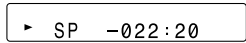
お知らせ……………………………………………………………………

- ［文字情報 英語］マークがついている再生専用MD（市販ソフトなど）は、ディスク名などの文字情報が表示できます。
- ひらがなや漢字で入力されているMDは、ディスク名や曲名は表示されません。
- 使用中は、MDが温かくなりますが、異常ではありません。
- MDは振動に対して音とびしにくくなっていますが、連続した振動に対しては、音がとぎれることがあります。

■ 時間表示を切り換える

再生中に、リモコンの［TIME］を押すたびに、切り換わります。

曲ごとの再生経過時間　曲ごとの再生残り時間　総再生残り時間(※)

（※）ランダム再生中は、表示しません。

（※）グループモードのときは、選んだ曲が入っているグループの総再生残り時間を表示します。

停止中に、リモコンの［TIME］を押すたびに、切り換わります。

選んだ曲の再生時間　選んだ曲以降の総再生残り時間

■ 曲名表示やレベルメーターに切り換える

再生中に、リモコンの［DISPLAY］を押すたびに、切り換わります。

再生経過時間　曲名（※1）　（※2）　録音残り時間　レベルメーター（※3）

（※1）　曲名が記録されていないときは“NO NAME”と表示します。

（※2）　🄼：モノラル録音された曲は“M”と表示します。

（※3）　レベルメーターを表示すると、再生中はその表示のままになります。MDを取り出すと、もとの表示に戻ります。

お知らせ……………………………………………………………………

- ジャケットなどに記載されている再生時間には、曲間の無音時間が含まれていないものもあるため、この製品での表示内容と合わないことがあります。
- 再生中の経過時間や残り時間の表示は、実際の時計の時間と異なることがあります。
- 再生専用MDは、録音残り時間は表示されません。

■ グループ録音された MD の再生動作について

グループ録音(☞ P.25)された MD を使用すると、設定されたアルバムごとやアーチストごとなど､好みのグループ別に再生することができます。

グループ録音例：

グループモードに設定したとき（“GROUP”が点灯）

グループごとに曲番が 1 から始まります。
グループを選んで再生することができます。

グループモードを解除したとき（“GROUP”が消灯）

連続した曲番になります。

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16
A曲 B曲 C曲 D曲 E曲 F曲 G曲 H曲 I曲 J曲 K曲 L曲 M曲 N曲 O曲 P曲

■ 聞きたいグループを選ぶには

❶ グループ録音した MD を入れると、自動的にグループモードになります。（“GROUP”点灯）

（最初のグループを表示します。）

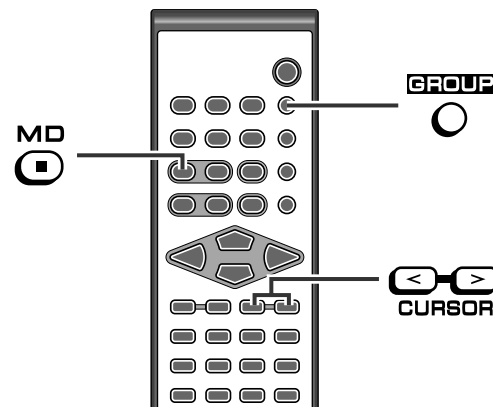
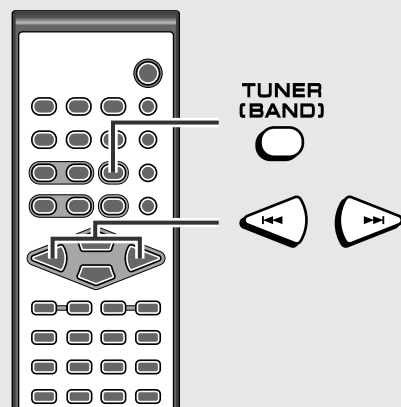
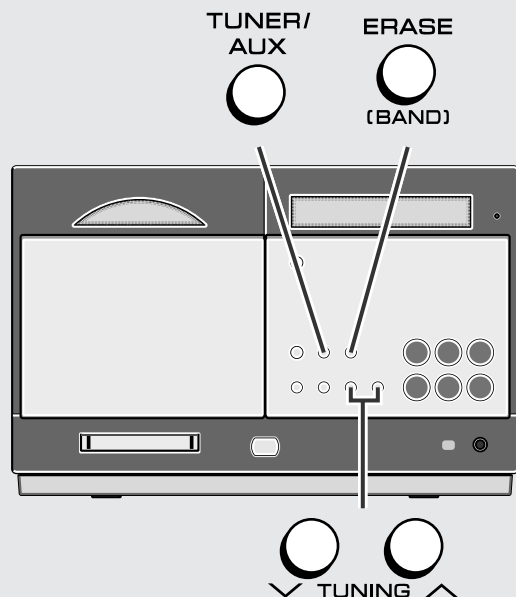
MD を取り出すと、グループモードは解除されます。

❷ [GROUP] をくり返し押して、聞きたいグループを選ぶ。

リモコンの [<] または [>] を押しても選ぶことができます。

グループモードを解除するには

停止中に、[GROUP] をくり返し押して、“GROUP”を消灯させる。

[MD ■] を 2 秒以上押しても解除することができます。

ラジオ放送を聞く

1 電源を入れて(☞ P.12)…
［TUNER/AUX］を押して、「TUNER（チューナー）」を選ぶ。

2 ［BAND］を押して、“FM STEREO（ステレオ）”、“FM”または“AM”を選ぶ。

3 ［TUNING ∨ ∧］を押して、放送局を選ぶ。

自動同調：ボタンを0.5秒以上押し続けて離すと、電波の強い放送局を自動的に受信します。

手動同調：ボタンを小きざみに押して、希望する放送局を受信します。

リモコンの［|◀◀］または［▶▶|］でも、放送局を選ぶことができます。

■音量や音質を調整する ☞ P.21

FM ステレオ放送の受信について

［BAND］を押して、“ STEREO ”表示を点灯させる。

STEREO 表示（点灯）	FM ステレオモード
STEREO 表示（消灯）	FM モノラルモード

FM ステレオ放送を受信すると“ ST ”表示が点灯します。

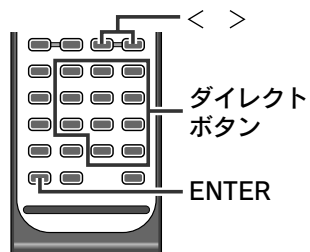
FM ステレオ放送を受信しても電波が弱いと“ ST ”が点灯しません。
このときは、音が出ませんので、FM モノラルモードに切り換えてください。

■ 放送局を登録するには

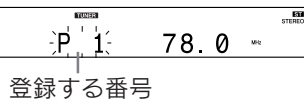
放送局は、AM放送・FM放送を合わせて、40局まで登録できます。

1 登録したい放送局を受信する。

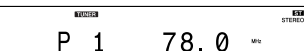
FM放送のときは、ステレオ・モノラルのモードも記憶されます。

2 リモコンの［ENTER］を押して、登録モードにする。

3 5秒以内に…

リモコンの［<］または［>］を押して、登録する番号を選ぶ。

P 1 78.0
登録する番号

4 5秒以内に…

リモコンの［ENTER］を押す。

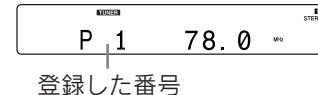
P 1 78.0

すでに登録されている番号に登録すると、前の登録内容は消えます。

他の放送局を登録するには、操作1からの手順をくり返します。

ご注意

一日以上電源コードを抜いていたり、停電があると、登録した放送局は消えます。そのときは、もう一度登録し直してください。

登録した放送局を呼び出すには

リモコンの［<］または［>］を押して、登録した番号を選ぶ。

登録した番号

リモコンの［**ダイレクトボタン**］で呼び出すとき：

1～10局目… ［1］～［10/0］で登録した番号を選ぶ。
11～40局目… ［>10］を押したあと、登録した番号を選ぶ。

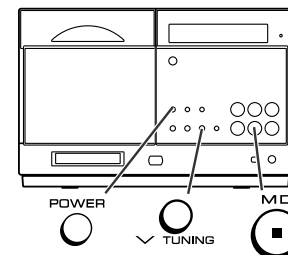
（例） 28局目 ［>10］→［2］［8］

ボタンを続けて押すときは、5秒以内に操作してください。

登録した放送局をすべて消すには

電源が切れた状態で…

［TUNING ∨］と［MD ■］を押しながら［POWER］を押す。

“TUNER CLEAR”（チューナー クリアー）と表示されます。

お知らせ

- **テレビ音声は次の周波数で受信できます。**

  1チャンネル ： FM 95.75MHz
  2チャンネル ： FM 101.75MHz
  3チャンネル ： FM 107.75MHz

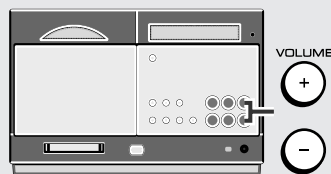
- 自動同調しているとき、周囲に妨害電波があると、そこで停止することがあります。そのときは、手動同調をお使いください。
- この製品のテレビ音声受信回路は、FM放送受信回路と兼用しています。このため、地域によっては、テレビの2または3チャンネルの音声を受信したときに、FM放送が混信することがあります。
- テレビ音声多重放送は受信できません。
- テレビ音声やAM放送は、モノラルで受信されますので、ステレオにはなりません。

音量や音質を調整する

音量を調整する（ボリューム）

［VOLUME − ＋］を押す。

VOLUME 20

音量０（小）〜40（大）

音の広がりを設定する（サラウンド）

リモコンの［SURROUND］を押す。

押すたびに切り換わります。

強調する

SURROUND 1 2：13 点灯

強調しない

1 2：13 消灯

お知らせ

サラウンドを切り換えると、プリセットイコライザーは“FLAT（フラット）”になります。また、プリセットイコライザーを切り換えると、サラウンドの設定は解除されます。

音質を変える（プリセットイコライザー）

リモコンの［PRE-EQ］を押す。

1回押すと現在の設定を表示し、表示中に続けて押すと、切り換わります。

フラットな音質

FLAT

低音と高音を強調する音質

HEAVY

ボーカル（中域）を強調する音質

VOCAL

高音を抑えた音質

SOFT

重低音を強調する（エキサイティングバス）

リモコンの［X-BASS］を押す。

1回押すと現在の設定を表示し、表示中に続けて押すと、切り換わります。

強調する

X-BASS ON

強調しない

X-BASS OFF

録音する前に、知っておいていただきたいこと

■ 試し録音について

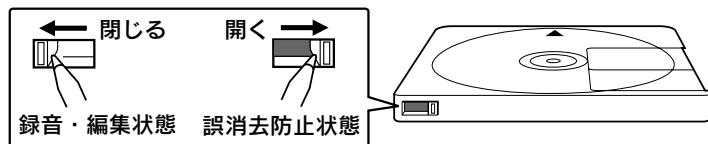
- 大切な録音をする前に、あらかじめ試し録音をして、正常に録音されることを確かめてください。
  （CD から MD に試し録音するときは、定速で録音してください。）
- 本機を使用中に、万一この製品の不具合により、録音されなかったとき、もしくは消去されたときの内容の補償については、ご容赦ください。

■ 音楽著作権について

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。（☞ P.60）

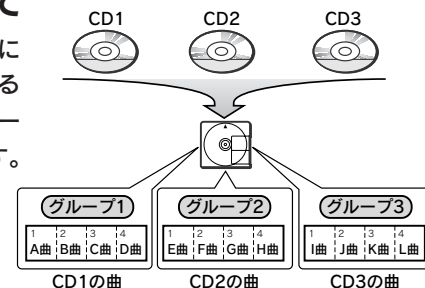
■ MD の誤消去防止について

MD に録音や編集をするときは、誤消去防止用ツマミが閉じていることを確かめてください。

録音が終わったあとは、大切な録音を誤って消さないために、誤消去防止用ツマミを開いておくことをおすすめします。

お知らせ

- 録音中に、音量・音質などを調整しても、録音には影響ありません。
- 録音中、本体に衝撃や振動を与えないでください。
  音とびを起こす原因となります。
- 再生専用 MD（市販の音楽ソフト）には録音できません。

■ グループ録音について

歌手やアルバムごとに、グループに分けて録音（最大99グループ）することができます。そのMDは、グループを選んで再生することができます。

グループモードを設定して録音すると…

グループ1				グループ2				グループ3			
1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
A曲	B曲	C曲	D曲	E曲	F曲	G曲	H曲	I曲	J曲	K曲	L曲

グループごとに曲番が 1 から始まります。

グループモードを解除して録音すると…

ディスク名											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
A曲	B曲	C曲	D曲	E曲	F曲	G曲	H曲	I曲	J曲	K曲	L曲

連続した曲番になります。

お知らせ

- ディスク名がグループ録音に適していないときに、グループ録音の操作をすると、"? Gr Form."（グループ フォーム）のあと "NewForm.OK?"（ニュー フォーム）と表示されることがあります。その場合、ディスク名を消さないとグループ録音ができません。
  ディスク名を消しても良いときは：
  ［ENTER］を押してください。
  ディスク名を消したくないときは：
  ［MD ■］を押して、録音を停止してください。
- グループ録音したMDを他の機器で録音または編集すると正しく動作しないことがあります。
- グループ機能に対応した他の機器で録音した MD をこの製品で使用すると、正しく動作しないことがあります。

■ 倍速録音の制約について

この製品は、CDからMDへ録音をするとき通常の半分の時間で録音することができます。(倍速録音)
倍速録音では、著作権保護を目的とした制約があります。

著作権保護を目的とした制約

CDからMDへ一度倍速録音をしたあと、再び同じCDから倍速録音するときは、次に録音を始めるまでの、待ち時間が必要となります。

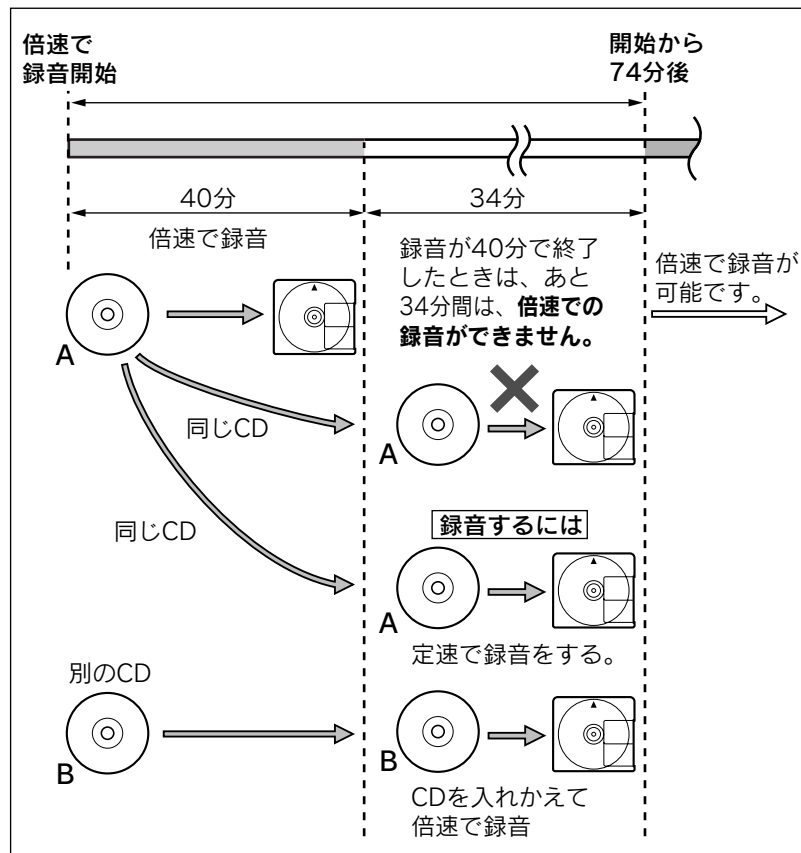
たとえば、CDからMDへの倍速録音が40分間で終了した場合、再び同じCDから倍速録音をするときには、34分間お待ちいただくことになります。

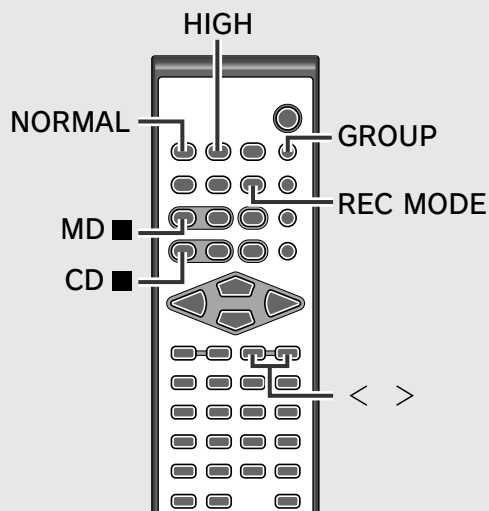
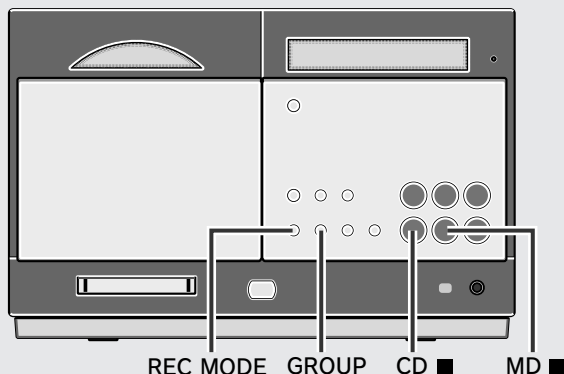
- 同じCDは、1回目の倍速録音を開始してから74分経過した後で、2回目の倍速録音が開始できます。
- 同じCDから74分以内に2回目の録音をしたい場合は、定速で録音してください。

次のようなときも、74分間は、倍速で録音をすることができません。

- 倍速録音を途中で止めたり、1曲でも倍速録音したCDから、もう一度録音しようとしたとき。
- 20枚のCDから倍速録音したあと、21枚目を録音しようとしたとき。

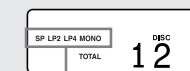
お知らせ...

- 倍速の録音中は、通常の2倍の速度でCDの音が再生されます。
- 倍速の録音中に、音量・音質などを調整することができますが、録音される音声は変わりません。

CDの1曲目から順番に録音する

1 電源を入れて…
再生するＣＤと、録音用ＭＤを入れる。

2 ［CD ■］を押して、入力を「CD」にする。

3 ［REC MODE］を押して、録音モードを選ぶ。

押すたびに切り換わります。

SP→LP2→LP4→MONO

録音モード表示

表示	録音モード	録音時間 (80分のMDに録音する場合)
SP LP2 LP4	ステレオ録音 2倍長時間録音（ステレオ） 4倍長時間録音（ステレオ）	最大80分 最大160分 最大320分
MONO	モノラル録音	最大160分

- 録音中は切り換えができません。
- 録音モードの設定は、次に変更するまで変わりません。
- 本体の［REC MODE］を押すと、録音の一時停止状態になり、くり返し押すと録音モードを選ぶことができます。

4 録音を開始する。

倍速で録音するとき
［HIGH］を押す。

定速で録音するとき
［NORMAL］を押す。

- 録音はデジタル録音になります。
- CDの再生が終わるか、MDの録音残り時間がなくなると、CDとMDは自動的に停止します。

■ グループモードを設定して録音するには

1 電源を入れて…
再生するＣＤと、録音用ＭＤを入れる。

2 **［CD ■］を押して、入力を「CD」にする。**

3 **リモコンの［REC MODE］を押して、録音モードを選ぶ。**

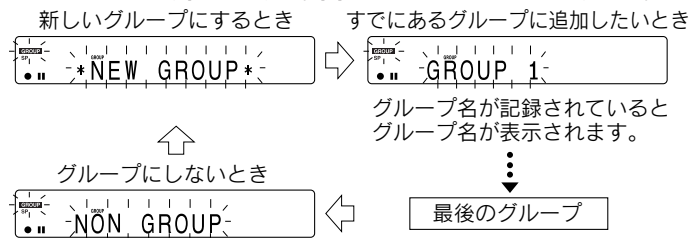
4 **［GROUP］を押して、“GROUP”を点灯させる。**

グループ録音の設定は、次に変更するまで変わりません。

5

倍速で録音するとき	定速で録音するとき
［HIGH］を押す。	［NORMAL］を押す。

6 **［GROUP］を押して、録音したいグループを選ぶ。**

新しいグループにするとき：*NEW GROUP*
すでにあるグループに追加したいとき：GROUP 1
グループ名が記録されているとグループ名が表示されます。
最後のグループ
グループにしないとき：NON GROUP

リモコンの［<］または［>］を押しても、選ぶことができます。

7 **録音を開始する。**

［HIGH］をもう一度押す。	［NORMAL］をもう一度押す。

■ 録音を停止するには

［CD ■］または［MD ■］を押す。
CD と MD が停止したあと、MD に曲番を書き込みます。
録音中に一時停止することはできません。

■ 曲番について

CD から録音したときは、CD と同じ位置に曲番がつきます。

CD によっては、CD の曲番と録音された MD の曲番が一致しないことがあります。

■ MD の４倍長時間録音（LP4）についてのご注意

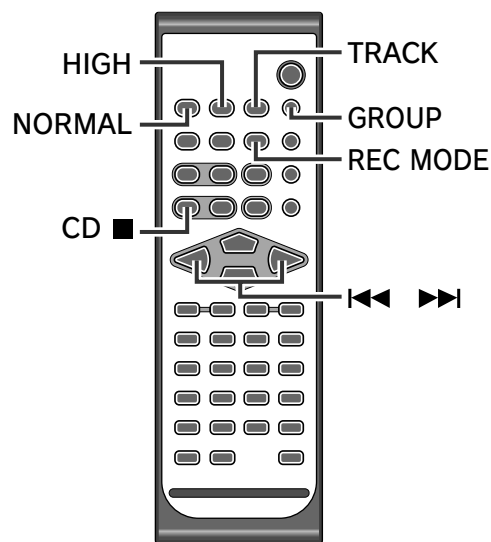
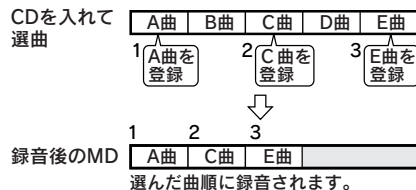
４倍長時間録音（LP4）は、特殊な圧縮方式によって、長時間のステレオ録音を実現しているため、ごくまれに雑音が録音される場合があります。音質を重視する録音を行うときには、ステレオ録音（SP）または２倍長時間録音（LP2）をおすすめします。

お知らせ

- ２倍・４倍長時間録音（LP2・LP4）をした曲は、２倍・４倍長時間再生に対応していない機器では再生できません。
  対応していない機器で再生すると、“NOT AUDIO（ノット オーディオ）”が表示され、無音状態となります。
  （機器によっては、動作や表示の内容が異なる場合があります。）
- CD のキズ、汚れや記録状態により、倍速で録音した MD に音切れや雑音が生じることがあります。このときは、定速で録音してください。

4章 MDへの録音

ＣＤの好きな曲だけを録音する（マイトラックエディット）

録音したい曲を登録して、あとでまとめて登録した順番に録音することができます。

1 CD と MD を入れて…

［CD ■］を押して、入力を「CD」にする。

2 **［REC MODE］を押して、録音モードを選ぶ。**

3 **［I◀◀］または［▶▶I］を押して、曲番を選ぶ。**

4 **［TRACK］を押して、曲番を登録する。**

TOTAL 3♪ 4：12 T-EDIT

登録した曲番　点灯

5 **3～4の操作をくり返して、録音したい曲を登録する。**

20 曲まで登録できます。

21 曲以上選曲すると、“EDIT OVER（エディット オーバー）” が表示され、その曲は登録されません。

6 **［HIGH］または［NORMAL］を押して、録音を開始する。**

録音が終わると、曲の登録は消えます。

録音が終わり、MD の録音残り時間がなくなると、CD と MD は自動的に停止します。

■ CD を聞きながら登録するには

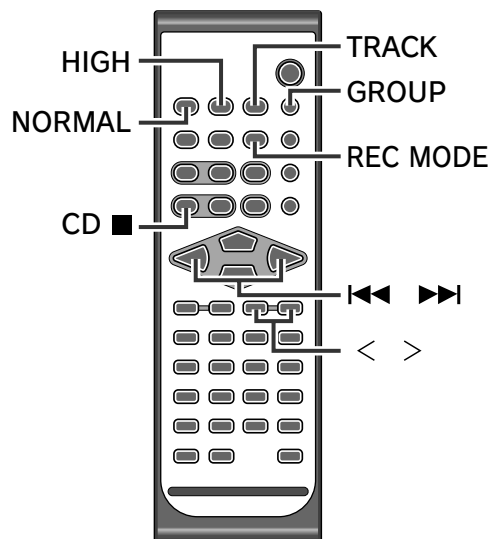
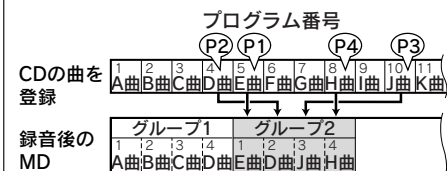
1. CD を再生中に録音したい曲がでてきたら、［TRACK］を押す。
曲が登録されます。（20 曲まで登録できます。）
2. 登録が終わったら、［CD ■］を押して、再生を止める。
3. ［HIGH］または［NORMAL］を押して、録音を開始する。

■録音を開始する前に曲の登録を取り消すには

停止中に 、［CD ■］を押す。

お知らせ

- マイトラックエディットで選曲をしているときは、「CD」から他の入力に切り換えることができません。他の入力にしたいときは、選曲を解除してください。
- プログラム選曲やランダム再生を設定しているときは、マイトラックエディットは使用できません。
プログラム選曲やランダム再生を解除してください。
- リピート再生を設定しているときに、マイトラックエディットを使用すると、録音中はリピート再生が解除されます。

録音したい曲を登録して、登録した順番でグループに録音することができます。

■ グループモードを設定して録音するには

1 CDとMDを入れて…

［CD ■］を押して、入力を「CD」にする。

2 **［GROUP］を押して、“GROUP”を点灯させる。**

グループ録音の設定は、次に変更するまで変わりません。

3 **［REC MODE］を押して、録音モードを選ぶ。**

4 **［|◀◀］または［▶▶|］を押して、曲番を選ぶ。**

5 **［TRACK］を押して、曲番を登録する。**

GROUP TOTAL 3♪ 4:12 T-EDIT

登録した曲番　点灯

6 **4～5の操作をくり返して、録音したい曲を登録する。**

20曲まで登録できます。

21曲以上選曲すると、“EDIT OVER（エディット オーバー）”が表示され、その曲は登録されません。

7 **［HIGH］または［NORMAL］を押して、録音の一時停止状態にする。**

8 **［GROUP］を押して、録音したいグループを選ぶ。**

［<］または［>］を押しても、選ぶことができます。

9 **［HIGH］または［NORMAL］を押して、録音を開始する。**

録音が終わると、曲の登録は消えます。

■録音を開始する前に曲の登録を取り消すには

停止中に、［CD ■］を押す。

お知らせ

- グループを99個以上作ったときは、マイトラックエディットでのグループ録音はできません。
  ノングループへの録音となります。

CD の途中の曲から録音する

❶ ＣＤとＭＤを入れて…
リモコンの［CD ■］を押して、入力を「CD」にする。

❷ **[GROUP] を押して、グループモードを選ぶ。**
グループ録音の設定は、次に変更するまで変わりません。

❸ **[● REC]を押して、録音の一時停止状態にする。**

❹ **[REC MODE] を押して、録音モードを選ぶ。**

グループ録音するときのみ

❺ **[GROUP] を押して、録音したいグループを選ぶ。**
リモコンの [<] または [>] を押しても選ぶことができます。

❻ **[I◀◀] または [▶▶I] を押して、録音したい曲番を選ぶ。**

❼ **[CD ▶II] を押して、録音を開始する。**
CD の再生が終わると、MD も自動的に停止し、録音の一時停止状態になります。

録音を停止するには

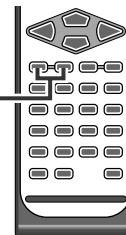
［MD ■］を押す。

■ 録音レベルの調整について

CDの音声レベルが低いときや、高いときは、録音をする前に録音レベルを調整することができます。録音の一時停止状態にする前に、以下の操作をしてください。

① **[CD ▶II] を押して、録音したい曲を再生する。**

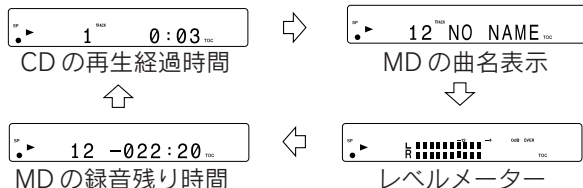
② **[● REC]を押して、録音の一時停止状態にする。**

③ **リモコンの［REC LEVEL － ＋］を押して、録音レベルを調整する。**

- 最も大きなレベルで “0dB” をこえないようにします。
- 録音レベルは－ 4dB から＋ 10dB まで、2dB ステップで調整することができます。

④ **［CD ■］を押して、CD を停止する。**

このあと、［● REC］を押す必要はありません。
（操作 ❸ は不要です。）

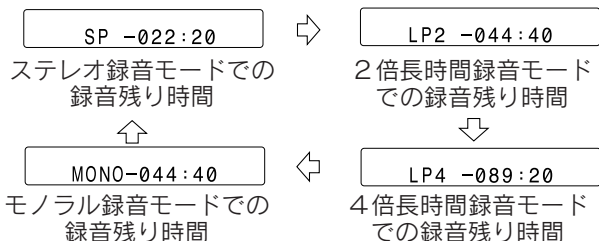
お知らせ

- 録音レベルは前回調整したレベルを覚えています。
- [HIGH] または [NORMAL] で録音を開始したときは、録音レベルは調整できません。

■ 表示を切り換える

録音中に、リモコンの［DISPLAY］を押すたびに切り換わります。

- レベルメーターやMDの録音残り時間に切り換えると、録音中はその表示のままになります。
- モノラル録音モード（MONO）にしても、録音中のレベルメーターはステレオ表示されます。

■ 録音モードや録音残り時間を確かめる

停止中に、入力をMDにして、リモコンの［REC MODE］を押すたびに切り換わります。

- 録音残り時間を表示したあと、もとの表示に戻ります。
- 次に録音を開始するときは、ここで確認したモードで録音を開始します。

■ TOC（トック）（Table of Contents）について

TOCとは、曲番や音声を認識するための目次情報です。
再生時の頭出しがすばやくできたり、空いている場所に録音できるのは、このTOCでMD全体を管理しているからです。
録音や編集をすると、画面に“TOC”が表示されます。

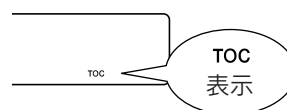
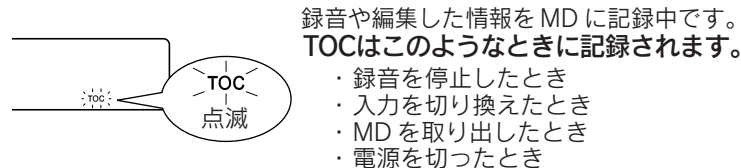
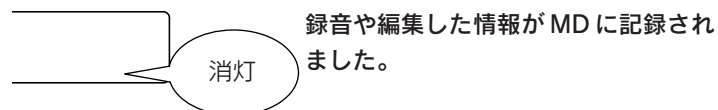
“TOC”の表示中は…

録音や編集によって、TOCの情報が変更されたことを表しています。
この時点では、録音や編集した情報はMDには記録されていません。

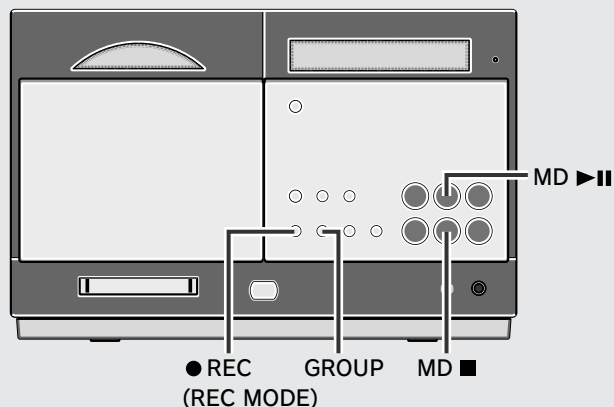
“TOC”の点滅中は…

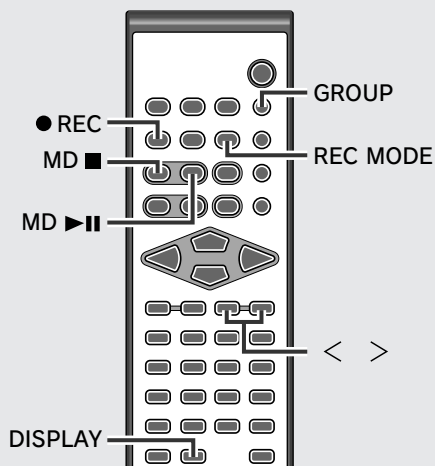
録音や編集した情報をMDに記録中です。
TOCはこのようなときに記録されます。
・録音を停止したとき
・入力を切り換えたとき
・MDを取り出したとき
・電源を切ったとき

“TOC”が消灯すると…

録音や編集した情報がMDに記録されました。

ご注意 ……………………………………………………………………
“TOC”が表示中または点滅中に電源コードを抜いたり、本体に衝撃を与えないでください。録音や編集した情報が記録されません。

4章 MDへの録音

ラジオ放送を録音する

1. 電源を入れて…
   録音用MDを入れる。
2. **録音したい放送局を受信する。**(☞P.19)
3. **[● REC] を押して、録音の一時停止状態にする。**
4. **[REC MODE] を押して、録音モードを選ぶ。**
   (☞P.24)
5. **[MD ▶II] を押して、録音を開始する。**

   MD の録音残り時間がなくなると、MD は自動的に停止します。

録音を一時停止するには

録音中に、[MD ▶II] を押す。
もう一度押すと、録音を再開します。

録音を停止するには

録音中に、[MD ■] を押す。
MD に曲番を書き込んだあと、MD が停止します。

■ グループモードを設定して録音するには

❶ 電源を入れて…

録音用ＭＤを入れる。

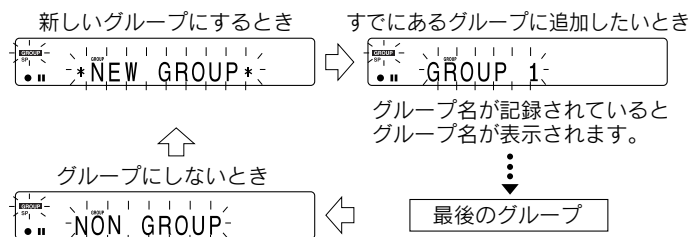
❷ **録音したい放送局を受信する。**（☞P.19）

❸ **［GROUP］を押して、“GROUP”を点灯させる。**

グループ録音の設定は、次に変更するまで変わりません。

❹ **［● REC］を押して、録音の一時停止状態にする。**

❺ **［REC MODE］を押して、録音モードを選ぶ。**（☞P.24）

❻ **［GROUP］を押して、録音したいグループを選ぶ。**

リモコンの［<］または［>］を押しても、選ぶことができます。

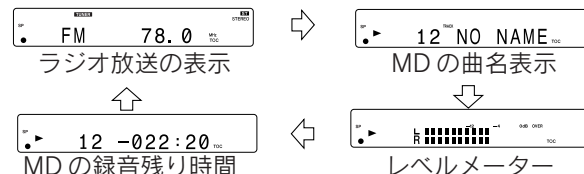
❼ **［MD ►II］を押して、録音を開始する。**

MDの録音残り時間がなくなると、MDは自動的に停止します。

お知らせ

- AM放送を録音するときは、録音の一時停止中に、AMアンテナを本体から離して、AM放送が最もきれいに聞こえるように調整しておいてください。
- 録音レベルは、調整することができません。

■ 表示を切り換える

録音中に、リモコンの［DISPLAY］を押すたびに切り換わります。

- レベルメーターやMDの録音残り時間に切り換えると、録音中はその表示のままになります。
- モノラル録音モード（MONO）にしても、録音中のレベルメーターはステレオ表示されます。

■ 曲番について

ラジオ放送から録音したときは、1回の録音がひと続きの曲として録音されます。

録音を停止したり、一時停止すると…

次に録音を再開したときは、曲番が1つ増えます。

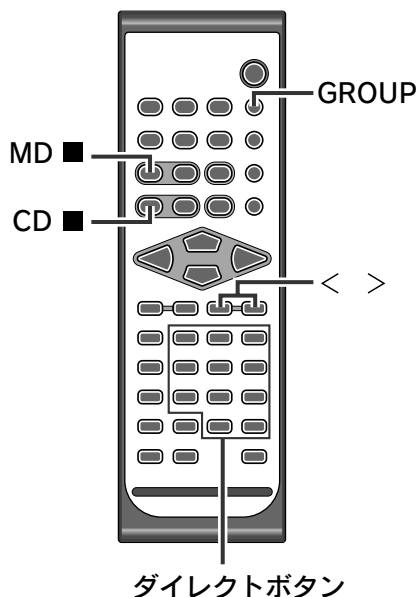
■ 録音中に自分で曲番をつけるには

曲番をつけたい位置で… **［● REC］を押す。**

曲番が1つ増えて、録音はそのまま続きます。
曲番をつけたあと、約4秒間は次の曲番をつけることができません。

聞きたい曲から聞く（ダイレクト選曲）

CDやMDの聞きたい曲から再生することができます。

GROUP
MD ■
CD ■
＜ ＞
ダイレクトボタン

CDを操作するとき	MDを操作するとき
1 CDを入れたあと… **［CD ■］を押す。**	MDを入れたあと… **［MD ■］を押す。**

グループで録音したMDを入れたとき

2 ［GROUP］を押して、聞きたい曲のあるグループを選ぶ。

［<］または［>］を押しても選ぶことができます。

3 ［ダイレクトボタン］で、聞きたい曲番を指定する。

► 5 TRACK 0:05

曲番

指定した曲から、再生が始まります。

曲番（10曲目以降）の指定のしかた

11～99曲目を指定するときは、［> 10］を押して指定する。

例）28曲目 ［> 10］ → ［2］［8］

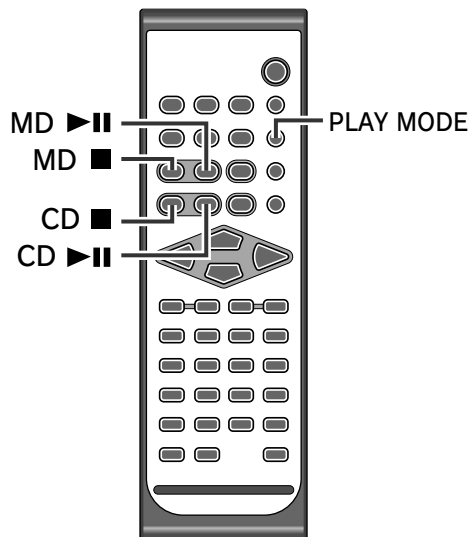
100曲目以降（MDのみ）は、［> 10］を2回押して指定する。

例）105曲目 ［> 10］［> 10］ → ［1］［10/0］［5］

お知らせ

- グループで録音したMDを入れたときは、自動的にグループモードになります。（☞ P.18）
- ダイレクトボタンを続けて押すときは、5秒以内に操作してください。
- ランダム再生（☞ P.33）やプログラム選曲（☞ P.34）を設定しているときは、ダイレクト選曲はできません。

くり返して聞く・順不同で聞く（リピート再生・ランダム再生）

くり返し再生（リピート再生）したり、順不同で再生（ランダム再生）することができます。
CD や MD を別々に設定することができます。

CD を操作するとき	MD を操作するとき
1 CD を入れたあと… **［CD ■］を押す。**	MD を入れたあと… **［MD ■］を押す。**

2 ［PLAY MODE］を押して、再生モードを選ぶ。

ノーマル再生：NORMAL
リピート再生：REPEAT（点灯）
ランダム再生：RANDOM（RANDOM 点灯）

3 再生を開始する。

CD	MD
［CD ►II］を押す。	［MD ►II］を押す。

	CDのとき/MDのグループモードを解除したとき（“GROUP” 消灯）の動作	MD のグループモードにしたとき（“GROUP” 点灯）の動作
リピート再生	全曲をくり返し再生します。 1 A曲 2 B曲 3 C曲 4 D曲 5 H曲 6 I曲 7 J曲 8 K曲 9 E曲 10 F曲 11 G曲 停止するまでくり返す	全曲をくり返し再生します。 グループ1：1 A曲 2 B曲 3 C曲 4 D曲／グループ2：1 H曲 2 I曲 3 J曲 4 K曲／ノングループ：1 E曲 2 F曲 3 G曲 停止するまでくり返す
ランダム再生	全曲を順不同に再生したあと、停止します。 1 A曲 2 B曲 3 C曲 4 D曲 5 H曲 6 I曲 7 J曲 8 K曲 9 E曲 10 F曲 11 G曲 順不同に再生	グループ内で順不同に再生し、全曲再生後停止します。 グループ1：1 A曲 2 B曲 3 C曲 4 D曲／グループ2：1 H曲 2 I曲 3 J曲 4 K曲／ノングループ：1 E曲 2 F曲 3 G曲 順不同に再生→順不同に再生→順不同に再生

■聞きたい曲だけをくり返して聞くには
プログラム選曲（☞ P.34）をしたあとに、リピート再生をします。

■聞きたい 1 曲だけをくり返して聞くには
プログラム選曲（☞ P.34）で 1 曲登録したあとに、リピート再生をします。

お知らせ

- **リピート再生は、止めるまで続きます。お聞きになったあとは、必ず停止してください。**
- CD や MD の再生中に再生モードを切り換えると、その時点からリピート再生またはランダム再生されます。
- MD のリピート再生やランダム再生の設定は、MD の録音操作をすると、解除されます。
- ランダム再生は、この製品が自動的に曲を選んで再生します。
（自分で選曲できません。）
- プログラム選曲を設定しているときは、ランダム再生はできません。

好きな曲だけを記憶させて聞く（プログラム選曲）

CD や MD の好きな曲を、好きな順に再生することができます。
（CD と MD は別々に、それぞれ 20 曲まで選べます。）

MD ►II
MD ■
CD ■
CD ►II
I◄◄　►►I
PROGRAM
CLEAR
ダイレクトボタン

	CD を操作するとき	MD を操作するとき
❶	CD を入れたあと… ［CD ■］を押す。	MD を入れたあと… ［MD ■］を押す。 表示部に“GROUP”が点灯したら、消灯させてください。（☞ P.18）

❷ ［PROGRAM］を押す。

PROGRAM
PROGRAM 点滅

❸ ［ダイレクトボタン］で、聞きたい曲番を指定する。

MD の曲名を確認しながら登録するときは
ダイレクトボタンを押すかわりに、［I◄◄］または［►►I］を押して、聞きたい曲番を選び、［PROGRAM］を押します。

曲番を間違えたときは
登録中に、[CLEAR] を押すと、最後に選んだ曲が取り消されます。続けて押すと、順に取り消されます。

❹ 3の操作をくり返し、聞きたい曲番を順に指定する。
総再生時間が 400 分以上を超えると “-- : --” が表示されますが、記憶はされています。

	CD	MD
❺	登録が終わったら… ［CD ■］を押す。	［MD ■］を押す。
❻ 再生を開始する。	［CD ►II］を押す。	［MD ►II］を押す。

最後に登録している曲の再生が終わると、自動的に停止します。

CD や MD を取り出すまで、曲の登録を覚えています。

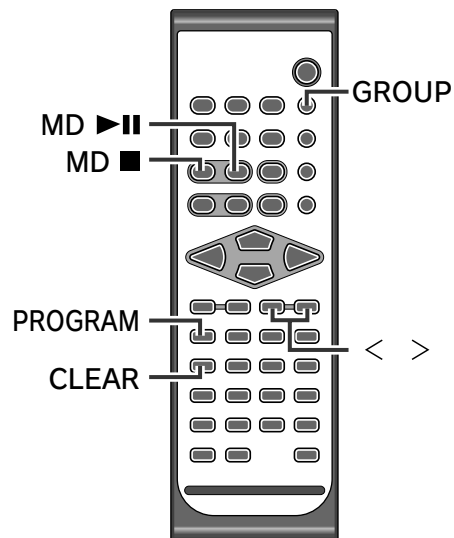
■登録した順番を確かめるには
停止中に、［I◄◄］または［►►I］を押します。

■曲を追加するには
❶～❺ の操作をくり返します。
- 前に選んでいる曲のあとに、追加されます。
- 曲の順番を入れ換えることはできません。

■登録を取り消すには
1. [CD ■] または [MD ■] を押す。
2. 停止中に[CLEAR]を押す。
- CD または MD の全曲の登録が取り消されます。

お知らせ
- 再生中や一時停止中には、曲を登録したり、取り消すことはできません。
- MDのプログラム選曲の設定は、録音操作をすると解除されます。
- CD をプログラム選曲して、録音することができます。（録音が終わっても、曲の登録は覚えています。）
- MD のプログラム選曲をしているときは、グループモードに設定することができません。

好きなグループだけを記憶させて聞く（グループプログラム選曲）

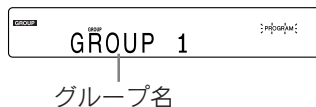
グループ録音されたMDでは、好きなグループを好きな順に再生することができます。（最大10グループ）

1 ［MD ■］を押す。

2 グループ録音したMDを入れる。

表示部に“GROUP”が点灯していないときは、点灯させてください。（☞ P.18）

3 ［PROGRAM］を押す。

GROUP
Gr PROGRAM
PROGRAM
PROGRAM 点滅

4 ［GROUP］を押して、聞きたいグループを選ぶ。

［<］または［>］を押しても選ぶことができます。

5 ［PROGRAM］を押して、登録する。

6 4～5の操作をくり返し、聞きたいグループを順に指定する。

7 登録が終わったら…　［MD ■］を押す。

8 ［MD ▶II］を押して、再生を開始する。

登録されたグループの曲をすべて再生すると、自動的に停止します。

MDを取り出すまで、グループの登録は覚えています。

■登録を取り消すには

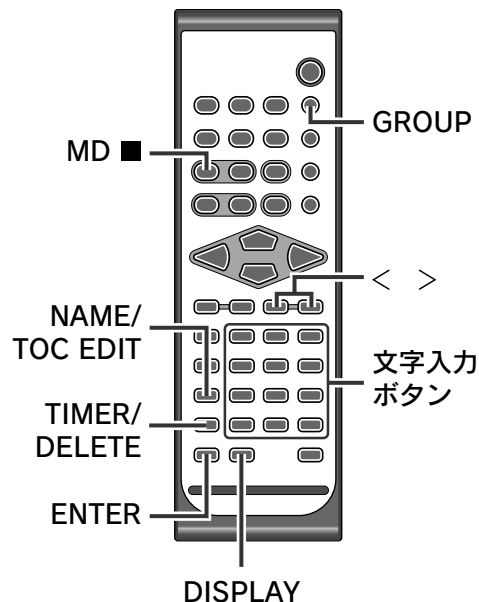
停止中に、[CLEAR]を押します。

お知らせ…………………

- 再生中や一時停止中にはグループを登録したり、取り消すことはできません。
- グループプログラムの設定は、録音操作をすると解除されます。
- グループモードでのプログラム選曲は、1曲単位ではなく、グループ単位になります。
- グループプログラムをしているときは、グループモードを解除することはできません。
  グループモードを解除するときは、グループプログラムの登録を取り消してください。
- グループプログラムしたあとに、リピート再生すると、聞きたいグループだけをくり返して聞くことができます。
- グループプログラムしたあとに、ランダム再生することはできません。

録音したMDにタイトルをつける

準備：録音済みの MD を入れる

●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●

- グループ録音したMDはグループモードが解除されると“GROUP（グループ） DISC（ディスク）”と表示されて編集操作ができません。グループモードを設定して、操作してください。
- プログラム選曲やランダム再生を設定しているときは、編集操作はできません。設定を解除してから操作してください。

ディスク名をつける（ディスクネーム）

1. [MD ■] を押す。
2. [NAME/TOC EDIT] を押して、編集メニューにする。
3. 10 秒以内に… [<] または [>] を押して、“DISC（ディスク） NAME（ネーム）” を選ぶ。

   DISC NAME
4. 10 秒以内に… [ENTER] を押す。

   文字入力の画面

   中止するには、[NAME/TOC EDIT] を押します。
5. [文字入力ボタン]、[DISPLAY] を使って、文字を入力する。
6. 入力が終われば…
   [ENTER] を押す。

   ヘ゛ストヒットA

   ディスク名が記録されます。

グループ名をつける（グループネーム）

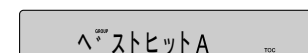
1. [MD ■] を押す。
2. [GROUP] を押して、名前をつけるグループを選ぶ。

   [<]または[>]を押しても選ぶことができます。
3. [NAME/TOC EDIT] を押して、編集メニューにする。
4. 10 秒以内に… [<] または [>] を押して、“GROUP（グループ） NAME（ネーム）” を選ぶ。

   GROUP NAME
5. 10 秒以内に… [ENTER] を押す。

   文字入力の画面

   中止するには、[NAME/TOC EDIT] を押します。
6. [文字入力ボタン]、[DISPLAY] を使って、文字を入力する。
7. 入力が終われば… [ENTER] を押す。

   ヘ゛ストヒットA

   グループ名が記録されます。

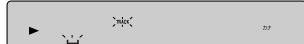
お知らせ

ノングループにグループ名をつけることはできません。

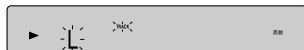
曲名をつける（トラックネーム）

1 名前をつける曲の再生中に…
［NAME/TOC EDIT］を押して、編集メニューにする。

► TRACK NAME

2 10秒以内に…**［ENTER］を押す。**

文字の入力画面になり、聞いている曲がくり返して再生されます。

中止するには、[NAME/TOC EDIT]を押します。

3 **［文字入力ボタン］、［DISPLAY］を使って、文字を入力する。**

4 入力が終われば…　**［ENTER］を押す。**

► 1:LOVE SO

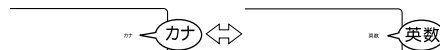
曲名が記録され、通常の再生に戻ります。

お知らせ

- 停止中に曲を選んでいるときや、一時停止中にも曲名をつけることができます。
- 録音中にも曲名をつけることができます。
  録音中に操作するときは、その曲の録音が終わる前に、名前の登録を終えてください。

文字入力のしかた

① 文字の種類を選ぶ。

- カタカナ⇔英数字の切り換え：
  ［DISPLAY］を押す。

- 英数字の大文字⇔小文字の切り換え：
  ［゛゜小文字］を押す。

② 文字を入力する。

- ［文字入力ボタン］を押す回数によって、表示される文字が切り換わります。
- カーソルを移動するときは、[<]または[>]を押します。

文字を削除するとき

① 文字入力画面にする。
② ［<］または［>］を押して、削除したい文字を選ぶ。
③ ［TIMER/DELETE］を押す。
④ ［ENTER］を押す。

文字を追加入力するとき

① 文字入力画面にする。
② ［<］または［>］を押して、追加したい位置の文字を選ぶ。
③ 文字を入力する。
もとの文字が1文字ずつ右に移動します。
④ ［ENTER］を押す。

（例）「ヒットA」と入力するときは

1. ［DISPLAY］を押し、カタカナ入力モードにする。
2. ［ハMNO 6］［ハMNO 6］…………………………（ヒ）
3. ［タGHI 4］［タGHI 4］［タGHI 4］［タGHI 4］［タGHI 4］［タGHI 4］………（ッ）
4. ［>］を押して、一文字移動する
5. ［タGHI 4］［タGHI 4］［タGHI 4］［タGHI 4］［タGHI 4］…………（ト）
6. ［DISPLAY］を押し、英数入力モードにする。
7. ［カABC 2］…………………………………（A）

（入力できる文字の種類）

ボタン	カタカナ入力モード ⇔ DISPLAY ⇔	英数入力モード 大文字 ⇔ ゛゜小文字 [>10]	⇔ 小文字
[1]	アイウエオ ァィゥェォ	1	1
[2]	カキクケコ	ABC 2	abc 2
[3]	サシスセソ	DEF 3	def 3
[4]	タチツテト ッ	GHI 4	ghi 4
[5]	ナニヌネノ	JKL 5	jkl 5
[6]	ハヒフヘホ	MNO 6	mno 6
[7]	マミムメモ	PQRS 7	pqrs 7
[8]	ヤユヨ ャュョ	TUV 8	tuv 8
[9]	ラリルレロ	WXYZ 9	wxyz 9
[10/0]	ワヲン	0 スペース	0 スペース
[>10]	゛ ゜ スペース	アルファベットの大文字／小文字の切換え（数字の大きさは変わりません。）	
記号 [TIME]	ー . , / : ? & ( ) ! " # $ % ＊ ; < = > @ _ ` + ' スペース		

録音したMDにタイトルをつける（続き）

■ 入力したタイトルを消すには

ディスク名を消去する

1. [MD ■] を押す。
2. [NAME/TOC EDIT] を押して、編集メニューにする。
3. 10 秒以内に… [<] または [>] を押して、“DISC NAME”（ディスク ネーム）を選ぶ。

   DISC NAME
4. 10 秒以内に… [TIMER/DELETE] を2秒以上押す。

   NAME CLEAR?

   （確認表示です）

   中止するには、[NAME/TOC EDIT] を押します。
5. [ENTER] を押す。

   ディスク名が消去されます。

グループ名を消去する

1. [MD ■] を押す。
2. [GROUP] を押して、名前を消したいグループを選ぶ。

   [<] または [>] を押しても選ぶことができます。
3. [NAME/TOC EDIT] を押して、編集メニューにする。
4. 10 秒以内に… [<] または [>] を押して、“GROUP NAME”（グループ ネーム）を選ぶ。

   GROUP NAME
5. 10 秒以内に… [TIMER/DELETE] を2秒以上押す。

   NAME CLEAR?

   （確認表示です）

   中止するには、[NAME/TOC EDIT] を押します。
6. [ENTER] を押す。

   グループ名が消去されます。

曲名を消去する

1. 名前を消したい曲の再生中に… [NAME/TOC EDIT] を押して、編集メニューにする。

   ▸ TRACK NAME
2. 10 秒以内に… [TIMER/DELETE] を2秒以上押す。

   ▸ NAME CLEAR?

   （確認表示です）

   中止するには、[NAME/TOC EDIT] を押します。
3. [ENTER] を押す。

   選んだ曲名が消去されます。

お知らせ

- 名前に “ / ” を連続してつけることはできません。
- 名前の先頭に “LP:” を入力すると、“LP:” が表示されないことがあります。（☞ P.59）
- この製品でカタカナを入力したとき、他の機器では正常に表示されないことがあります。
- 他の機器でカタカナ入力されたMDは、この製品では正常に表示されないことがあります。
- ディスク名やグループ名、各曲名で入力した文字が 40 文字を超えると “NAME FULL”（ネーム フル）と表示されます。
- 1 枚の MD には、約 1,700 文字まで入力することができます。（約1,700文字を超えると “TOC FULL 1”（トック フル）と表示されます。ただしこの製品では、グループの情報が記録されるため、1,700 文字以下でも “TOC FULL 1” が表示されることがあります。）
- 他の機器で 40 文字以上入力された MD は、文字を修正することはできません。そのときは、ディスク名やグループ名、曲名を一度消去したあと、もう一度入力してください。（☞ P.36）

曲やグループを消す

1 曲ずつ消す（トラックイレース）

消す前：1 A曲 ｜ 2 B曲 ｜ 3 C曲 ｜ 4 D曲
消した後：1 A曲 ｜ 2 C曲 ｜ 3 D曲

1 停止中に…
［I◀◀］または［▶▶I］を押して、消したい曲を選ぶ。

消したい曲の再生中に、［MD ▶II］を押して一時停止状態にしてもできます。

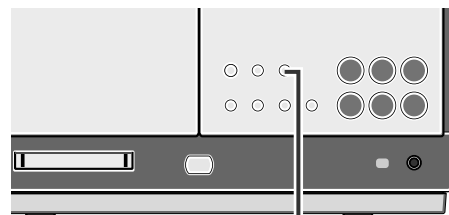
2 **本体の［ERASE］を押す。**

ERASE　5?
（確認表示です）

中止するには、［MD ■］を押します。

3 **［ERASE］を 2 秒以上押す。**

COMPLETE　TOC

1 曲消えて、消えたうしろの曲の頭で停止します。

グループを消す（グループイレース）

消す前：
グループ1				グループ2				グループ3				ノングループ			
1 A曲	2 B曲	3 C曲	4 D曲	1 H曲	2 I曲	3 J曲	4 K曲	1 L曲	2 M曲	3 N曲	4 O曲	1 E曲	2 F曲	3 G曲	4 P曲

消した後：
グループ1				グループ2				ノングループ			
1 A曲	2 B曲	3 C曲	4 D曲	1 L曲	2 M曲	3 N曲	4 O曲	1 E曲	2 F曲	3 G曲	4 P曲

1 停止中に…
［GROUP］を押して、消したいグループを選ぶ。

GROUP　1

［<］または［>］を押しても選ぶことができます。

2 **［NAME/TOC EDIT］を押して、編集メニューにする。**

3 10 秒以内に… **［<］または［>］を押して、“Gr & Tr - ERASE”（グループ トラック イレース）を選ぶ。**

Gr&Tr-ERASE

4 10 秒以内に… **［ENTER］を押す。**

GrERASE OK?
（確認表示です）

中止するには、［NAME/TOC EDIT］を押します。

5 もう一度… **［ENTER］を押す。**

COMPLETE　TOC

すべての曲を消す（オールイレース）

消す前：
グループ1				グループ2			
1 A曲	2 B曲	3 C曲	4 D曲	1 H曲	2 I曲	3 J曲	4 K

↓全てを消す

消した後：ブランクMD

1 **［MD ■］を押して、全曲表示にする。**

DISC 12　42:33

2 **本体の［ERASE］を押す。**

ALL ERASE?
（確認表示です）

中止するには、［MD ■］を押します。

3 **［ERASE］を 3 秒以上押す。**

COMPLETE　TOC
⇩
BLANK MD　TOC

すべての曲が消えます。

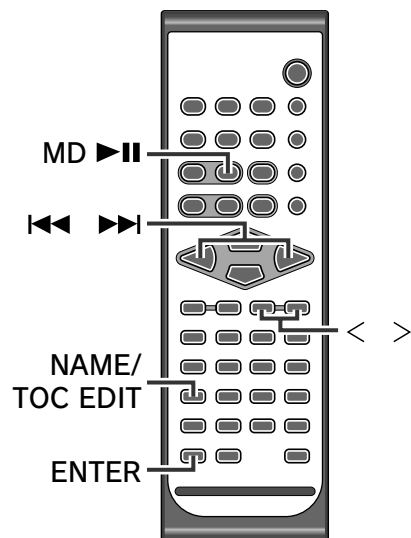
ご注意

曲やグループを消すと、もとには戻せません。消してもよいか、よく確かめてから操作してください。

お知らせ

- リモコンの［NAME/TOC EDIT］と［<］または［>］を押して、“Tr-ERASE”（トラック イレース）や“ALL ERASE”（オール イレース）のメニューを選んで消去することもできます。
- グループ録音しているディスクの曲を消すときは、グループモードに設定してください。
  （グループモードに設定していないと、“GROUP DISC”（グループ ディスク）と表示され、消すことができません。）
- グループ内のすべての曲を消すと、そのグループも消えます。
- 曲を消すと、曲番・曲名なども同時に消えます。

6 章 MDの編集

曲を編集する

2曲を1つにつなぐ（コンバイン）

	1	2	3	4
つなぐ前	A曲	B曲	C曲	D曲

	1	2	3	
つないだ後	A曲	B曲	C曲	D曲

1 停止中に…
[I◄◄] または [►►I] を押して、つなぐうしろの曲を選ぶ。
うしろの曲を再生中に、[MD ►II] を押して一時停止状態にしてもできます。

2 **[NAME/TOC EDIT] を押して、編集メニューにする。**

3 10秒以内に… **[<] または [>] を押して、“COMBINE”（コンバイン）を選ぶ。**

COMBINE

4 10秒以内に… **[ENTER] を押す。**

3+ 4 ?
（確認表示です）

中止するには、[NAME/TOC EDIT] を押します。

5 もう一度… **[ENTER] を押す。**

COMPLETE TOC

曲がつながり、つながった曲の頭で停止します。

1曲を2つに分ける（デバイド）

	1	2	3	
分ける前	A曲	B曲	C曲	D曲

	1	2	3	4
分けた後	A曲	B曲	C曲	D曲

1 再生中に…
曲を分けたいところで、[MD ►II] を押して、一時停止状態にする。

2 **[NAME/TOC EDIT] を押して、編集メニューにする。**

3 10秒以内に… **[<] または [>] を押して、“DIVIDE”（デバイド）を選ぶ。**

DIVIDE

4 10秒以内に… **[ENTER] を押す。**

DIVIDE OK?
（確認表示です）

中止するには、[NAME/TOC EDIT] を押します。

5 もう一度… **[ENTER] を押す。**

COMPLETE TOC

曲が分けられ、うしろの曲の頭で停止します。

曲を移動する（ムーブ）

	1	2	3	4
移動する前	A曲	B曲	C曲	D曲
移動した後	A曲	D曲	B曲	C曲

1 停止中に…
[|◀◀] または [▶▶|] を押して、移動する曲を選ぶ。
移動したい曲を再生中に、[MD ▶II] を押して一時停止状態にしてもできます。

2 **[NAME/TOC EDIT] を押して、編集メニューにする。**

3 10秒以内に… **[<] または [>] を押して、"MOVE"（ムーブ）を選ぶ。**

MOVE

4 10秒以内に… **[ENTER] を押す。**

4→ 1 ?
（確認表示です）

5 **[<] または [>] を押して、移動先を選ぶ。**

4→ 2 ?
移動先の曲番

中止するには、[NAME/TOC EDIT] を押します。

6 もう一度… **[ENTER] を押す。**

COMPLETE TOC

曲が移動し、その曲の頭で停止します。

2曲を1つにつなぐときの「お知らせ」

- 連続していない2つの曲をつなぐには、あらかじめ、「ムーブ」を使って2つの曲を連続させてから、つないでください。
- デジタル録音した曲と、アナログ録音した曲をつなぐことはできません。
- 録音モード（モノラル録音、ステレオ録音、2倍長時間録音、4倍長時間録音）の異なる曲をつなぐことはできません。
- 短い曲（ステレオ録音：8秒、モノラル録音・2倍長時間録音：16秒、4倍長時間録音：32秒）はつながらないことがあります。
- つなぐ2つの曲に、両方とも曲名がついているときや、前の曲だけについているときは、前の曲名がつきます。
  ただし、他の機器で録音した曲は、つかないことがあります。
- グループにしている曲は、グループ内の曲しかつなぐことはできません。別のグループの曲とつなぐときは、「グループチェンジ」（☞ P.42）を使って2つの曲を連続させてから、つないでください。
- グループ録音しているMDは、グループモードにしないと編集はできません。

1曲を2つに分けるときの「お知らせ」

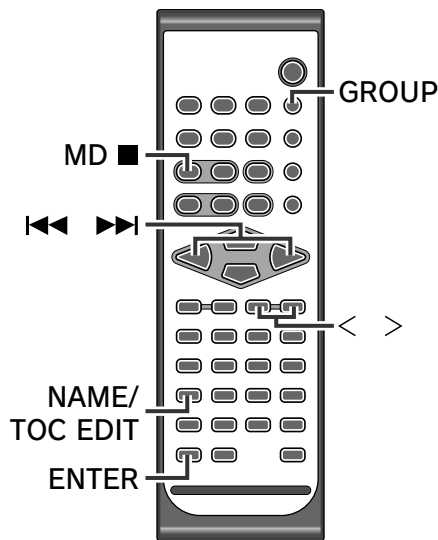
- 1枚のMDで最大255曲まで曲を分けられます。
  ただし、254曲以下でも曲を分けられないことがあります。（☞ P.59）
- 分ける曲に曲名がついているときは、両方に同じ曲名がつきます。
  ただし、TOC（トック）に文字情報を登録する空きがないときは、うしろの曲には曲名がつきません。

曲を移動するときの「お知らせ」

- グループにしている曲は、グループ内での移動しかできません。別のグループに移動するには、「グループチェンジ」（☞ P.42）を使って曲を移動してください。

グループを編集する

準備：①グループ録音した MD を入れる
（グループエントリーはグループ録音をしていない MD でも操作できます。）
②［MD ■］を押す

●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●

グループの選びかた

［GROUP］をくり返し押して、グループを選ぶ。
［<］または［>］を押しても選ぶことができます。

曲の選びかた

［⏮］または［⏭］を押して曲を選ぶ。

曲を別のグループに移動する（グループチェンジ）

	グループ1				ノングループ			グループ2				グループ3				
移動する前	1 A曲	2 B曲	3 C曲	4 D曲	1 E曲	2 F曲	3 G曲	1 H曲	2 I曲	3 J曲	4 K曲	1 L曲	2 M曲	3 N曲	4 O曲	4 P曲

	グループ1					ノングループ			グループ2			グループ3				
移動した後	1 A曲	2 B曲	3 C曲	4 D曲	5 I曲	1 E曲	2 F曲	3 G曲	1 H曲	2 J曲	3 K曲	1 L曲	2 M曲	3 N曲	4 O曲	4 P曲

1. 移動したい曲が入っているグループを選ぶ。
2. 移動する曲を選ぶ。
3. ［NAME/TOC EDIT］を押して、編集メニューにする。
4. 10秒以内に…［<］または［>］を押して、“Gr-CHANGE”を選ぶ。

   Gr-CHANGE
5. 10 秒以内に…　［ENTER］を押す。
6. ［<］または［>］を押して、移動先のグループを選ぶ。

   →GROUP　1

   中止するには、［NAME/TOC EDIT］を押します。
7. ［ENTER］を押す。

   CHANGE OK?

   （確認表示です）
8. もう一度…　［ENTER］を押す。

   COMPLETE

   曲が移動し、その曲の頭で停止します。

お知らせ

すべての曲を別のグループに移動すると、そのグループとグループ名は消えます。

グループを先頭に移動する（グループトップムーブ）

	グループ1				グループ2				グループ3				ノングループ			
移動する前	1 A曲	2 B曲	3 C曲	4 D曲	1 H曲	2 I曲	3 J曲	4 K曲	1 L曲	2 M曲	3 N曲	4 O曲	1 E曲	2 F曲	3 G曲	4 P曲

	グループ1				グループ2				グループ3				ノングループ			
移動した後	1 H曲	2 I曲	3 J曲	4 K曲	1 A曲	2 B曲	3 C曲	4 D曲	1 L曲	2 M曲	3 N曲	4 O曲	1 E曲	2 F曲	3 G曲	4 P曲

1. 移動するグループを選ぶ。
2. ［NAME/TOC EDIT］を押して、編集メニューにする。
3. 10秒以内に…［<］または［>］を押して、“Gr- TOP-MOVE”を選ぶ。

   Gr-TOP-MOVE
4. 10 秒以内に…　［ENTER］を押す。

   Gr-MOVE OK?

   （確認表示です）

   中止するには、［NAME/TOC EDIT］を押します。
5. もう一度…　［ENTER］を押す。

   COMPLETE

   グループが移動します。

お知らせ

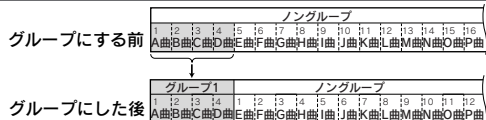
- グループ名が記録されていると、グループトップムーブをしてもグループ名は変わりません。
- 先頭のグループをグループトップムーブしようとすると、“Can't EDIT”と表示され、操作できません。
- ノングループは、グループトップムーブをすることはできません。

グループになっていない曲をグループにする
（グループエントリー）

グループにする前

ノングループ															
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
A曲	B曲	C曲	D曲	E曲	F曲	G曲	H曲	I曲	J曲	K曲	L曲	M曲	N曲	O曲	P曲

グループにした後

グループ1				ノングループ											
1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
A曲	B曲	C曲	D曲	E曲	F曲	G曲	H曲	I曲	J曲	K曲	L曲	M曲	N曲	O曲	P曲

1 [NAME/TOC EDIT] を押して、編集メニューにする。

2 10秒以内に… [<] または [>] を押して、“Gr-ENTRY”（グループ エントリー）を選ぶ。

Gr-ENTRY

3 10秒以内に… [ENTER] を押す。

ENTRY OK?

（確認表示です）

中止するには、[NAME/TOC EDIT]を押します。

4 もう一度… [ENTER] を押す。

START TNO.

5 [<] または [>] を押して、グループにしたい最初の曲を選ぶ。

TRACK 1 4:48

ノングループの曲番１から順に表示されます。

6 [ENTER] を押す。

END TNO.

7 [<] または [>] を押して、グループにしたい最後の曲を選ぶ。

TRACK 4 3:32

8 [ENTER] を押す。

1- 4 OK?

（確認表示です）

9 もう一度… [ENTER] を押す。

選んだ曲がグループになります。

ご注意

グループエントリーをすると、ノングループの曲をすべて後ろに移動するため、曲順がわからなくなり、もとに戻せなくなることがあります。
移動してもよいか、よく確かめてから操作してください。

お知らせ

- ノングループの曲がないときは、操作３で“NO TRACK”（ノー トラック）と表示され、グループエントリーすることはできません。
- 連続していない曲をグループにするには、あらかじめ「グループチェンジ」（P.42）、「ムーブ」（P.41）を使って曲を移動させてから、グループエントリーをしてください。

グループ情報を消去する
（グループキャンセル）

キャンセルする前

グループ1				グループ2				グループ3				グループ4			
1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
A曲	B曲	C曲	D曲	H曲	I曲	J曲	K曲	L曲	M曲	N曲	O曲	E曲	F曲	G曲	P曲

キャンセルした後

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
A曲	B曲	C曲	D曲	H曲	I曲	J曲	K曲	L曲	M曲	N曲	O曲	E曲	F曲	G曲	P曲

1 [NAME/TOC EDIT] を３秒以上押す。

GROUP Gr-CANCEL

2 10秒以内に… [ENTER] を押す。

GROUP EDIT OK?

（確認表示です）

中止するには、[NAME/TOC EDIT]を押します。

3 もう一度… [ENTER] を押す。

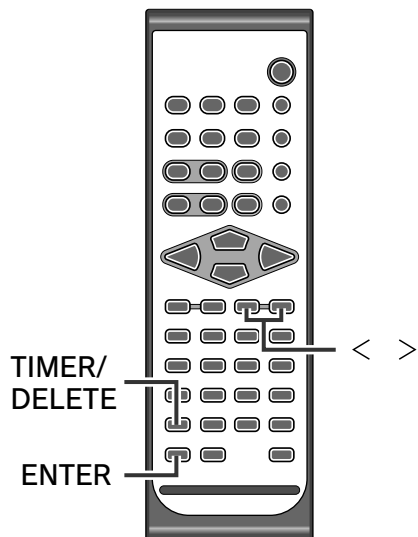
グループ情報が消えます。

ご注意

グループキャンセルをすると、すべてのグループ情報が消去されます。
よく確かめてから操作してください。

音楽で目覚めたり、留守中に録音する（タイマー）

音楽で目覚める（タイマー再生）
設定した時刻にCD・MD・ラジオ放送を聞くことができます。

留守中に録音する（タイマー録音）
設定した時刻にラジオ放送をMDに録音することができます。

1 電源を入れて…
［TIMER/DELETE］を押す。

STANDBY

"STANDBY"が表示されないときは、時計を合わせてください。時計を合わせていないと、タイマーを設定することはできません。

2 10秒以内に…
［<］または［>］を押して、"TIMER SET"を選び、［ENTER］を押す。

TIMER SET

3 ［<］または［>］を押して、登録モードを選び、［ENTER］を押す。

タイマー再生するとき

TIMER PLAY

タイマー録音するとき

TIMER REC

4 ［<］または［>］を押して、開始時刻の「時」を合わせ、［ENTER］を押す。

ON AM 7:00

5 ［<］または［>］を押して、開始時刻の「分」を合わせ、［ENTER］を押す。

ON AM 7:30

OFF AM 8:30

- ［<］または［>］を押し続けると、5分ごとに早送りされます。
- 開始時刻の「分」を設定すると、「時」が1時間増えて、終了時刻に切り換わります。

■タイマーを使う前に

① 時計を合わせる
（☞ P.13）
時計を合わせていないと、タイマーは使用できません。

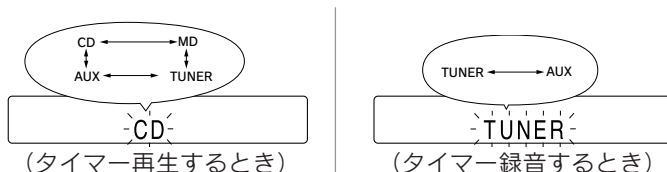
② 再生や録音の準備をする
- 再生用または録音用のMDを入れてください。
- ラジオ放送を聞いたり、録音するときは、放送局を登録してください。（☞ P.20）
- タイマー録音するときは、録音モードを確認してください。（☞ P.24、P.50）

次のとき、タイマー録音はできません。
- 再生専用MDが入っているとき
- MDが誤消去防止状態になっているとき（☞ P.22）
- MDに録音できる部分がないとき（"TOC FULL"、"DISC FULL"状態など）
- MDのデータが異常なとき（"Can't REC"の状態など）

⑥ 4～5と同じ手順で、終了時刻を設定する。

⑦ [<] または [>] を押して、入力を選び、[ENTER] を押す。

（タイマー再生するとき）

（タイマー録音するとき）

- 「TUNER」を選んだときは、続けて放送局を選んでください。
- 「AUX」を選ぶときは、他の機器とこの製品を接続（☞ P.49～50）して、それぞれタイマー設定してください。

「TUNER（チューナー）」を選んだときは…
[<] または [>] を押して、希望の放送局を選び、[ENTER] を押す。

プリセット番号

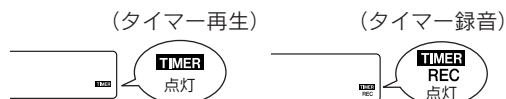
放送局が登録されていないと "NO P.SET（ノー プリセット）" と表示され、設定操作が終了します。
このときは、放送局を登録したあと、操作1からやり直してください。

⑧ [<] または [>] を押して、音量を設定し、[ENTER] を押す。

VOLUME 10

音量をあまり大きくしないように注意してください。
[VOLUME − +] を押して設定することもできます。

タイマー設定が終わると…
登録された内容が順に表示されます。

（タイマー再生）　（タイマー録音）

このあと、電源が自動的に切れて、タイマー再生またはタイマー録音の待機状態になります。

タイマー設定表示

タイマー開始時刻になると…
タイマー再生またはタイマー録音が始まります。
タイマー再生のとき、音量は徐々に大きくなります。

タイマー終了時刻になると…
電源が自動的に切れます。

設定内容は次に変更するまで覚えています。

■タイマーの設定を変えるときは
操作1からやり直してください。

ご注意
- **タイマー再生とタイマー録音を同時に設定することはできません。**
- **他の機器を、この製品のタイマー設定で操作することはできません。**
- 録音中はタイマー設定をすることはできません。
- 電源コードを抜いたり、停電があったときなどは、タイマー再生または録音の待機状態は解除されます。

お知らせ
- CDやMDで、リピート再生・ランダム再生・プログラム選曲を設定していても、タイマー再生することができます。
- グループ録音されたMDにタイマー録音すると、"NON GROUP（ノン グループ）" に録音されます。グループモードを設定してタイマー録音することはできません。
- グループモードに設定してタイマー再生すると、電源が切れる前に選んでいたグループから再生を始めます。

音楽で目覚めたり、留守中に録音する（タイマー）（続き）

タイマー設定の内容を確認する

1 **タイマー再生やタイマー録音の待機状態（タイマー設定表示点灯）のときに、[TIMER/DELETE]を押す。**

2 10秒以内に… **[<] または [>] を押して、“TIMER CALL” を選ぶ。**

TIMER CALL

3 **[ENTER] を押す。**

設定した内容が順に表示されたあと、もとの状態に戻ります。

同じ内容で再度タイマーを使う

タイマーの内容は、一度設定すると覚えています。内容を変えないときは、次の操作で再設定できます。

1 電源を入れて…

[TIMER/DELETE] を押す。

STANDBY

“STANDBY” が表示されないときは、時計の設定が消えています。
そのときは、時計を合わせて、タイマー設定をやり直してください。

2 10秒以内に… **[ENTER] を押す。**

登録された内容が順に表示されます。
このあと、電源が自動的に切れて、タイマー再生またはタイマー録音の待機状態になります。

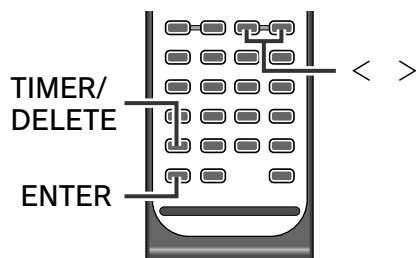
タイマー動作を解除する

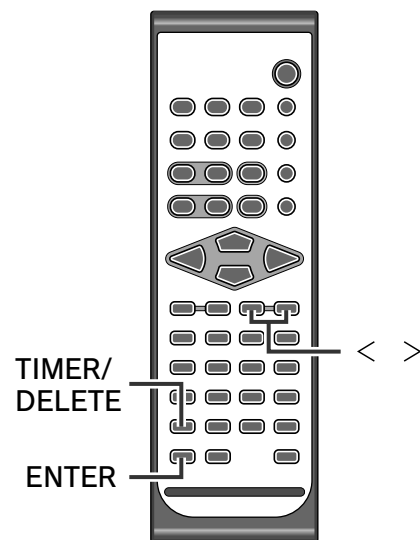
タイマー再生やタイマー録音の待機状態（タイマー設定表示点灯）のときに、電源を入れると解除されます。電源を入れずに、次の操作で解除することもできます。

1 **[TIMER/DELETE] を押す。**

2 10秒以内に… **[ENTER] を押す。**

CANCEL

タイマー動作は解除されます。（タイマー設定表示消灯）
ただし、設定した内容は消えません。

音楽を聞きながらおやすみになる（スリープ）

設定した時間でCD・MD・ラジオ放送を停止することができます。

1 聞きたい音楽の再生中に…

[TIMER/DELETE] を押す。

STANDBY

2 10秒以内に…

[<] または [>] を押して、"SLEEP"（スリープ）を選ぶ。

► SLEEP 1:00

3 10秒以内に…

[ENTER] を押す。

► SLEEP 1:00

4 **[<] または [>] を押して、スリープ時間を設定する。**

► SLEEP 30

- **1分～2時間まで設定できます。**
- 5分から2時間までは5分単位で、1分から5分までは1分単位で設定できます。

5 **[ENTER] を押す。**

スリープ動作が始まります。

► SLEEP 30

SLEEP 点灯

スリープ終了時刻になると…

再生が終わり、電源が切れます。
終了1分前になると、音量が徐々に小さくなります。
このとき、音量を変えることはできません。

■スリープを解除するには

電源を切ると、スリープは解除されます。
電源を切らずに、解除することもできます。

1. スリープ動作中に、[TIMER/DELETE] を押す。
2. 10秒以内に、[<] または [>] を押して、"SLEEP OFF"（スリープ オフ）を選ぶ。
3. 10秒以内に、[ENTER] を押す。
（"SLEEP"（スリープ）が消灯する）

■スリープ中に残り時間を確認するには

1. スリープ動作中に、[TIMER/DELETE] を押す。
2. 10秒以内に、[<] または [>] を押して、"SLEEP"（スリープ）を選ぶ。

- 約10秒後にもとの表示に戻ります。
- スリープ残り時間が表示されているときに [ENTER] を押すと、時間を変更することができます。（左の操作4～5）

お知らせ..................

他の機器を、この製品のスリープ設定で操作することはできません。

音楽を聞きながらおやすみになる（スリープ）（続き）

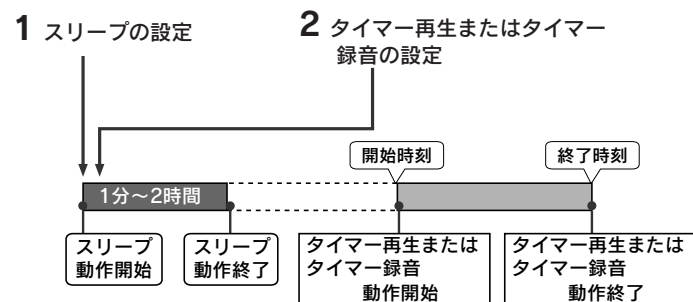
■ スリープとタイマーを組み合わせて使う

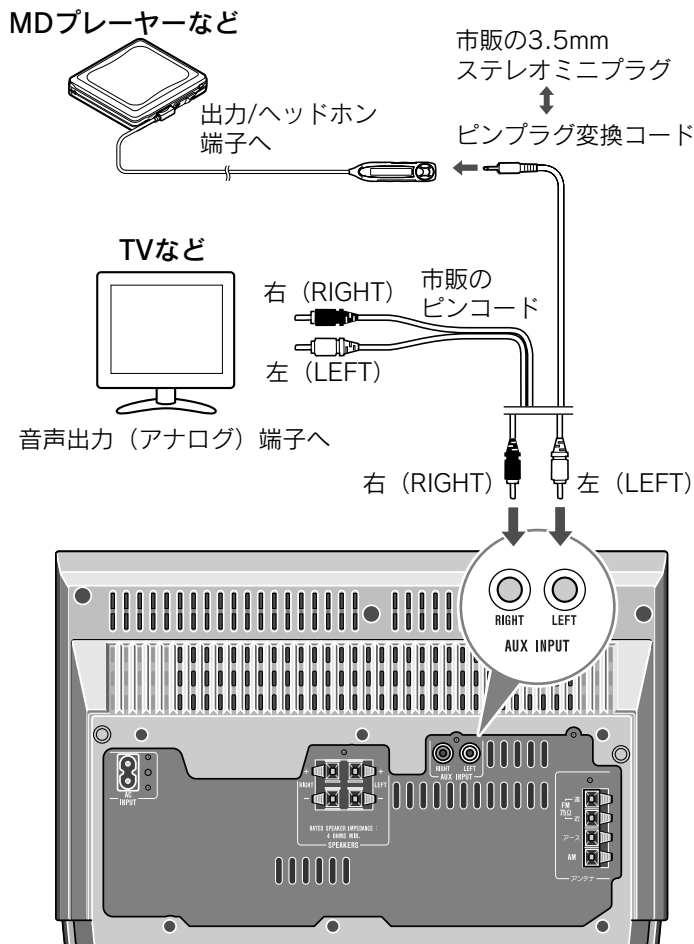
スリープとタイマー再生を使うと
たとえば、ラジオ放送を聞きながらおやすみになり、次の日の朝、CDの音楽で目覚めることができます。

スリープとタイマー録音を使うと
たとえば、CDを聞きながらおやすみになり、おやすみ中にラジオ放送を録音することができます。

1 スリープを設定する。
（「音楽を聞きながらおやすみになる」：☞ P.47：操作❶〜❺）

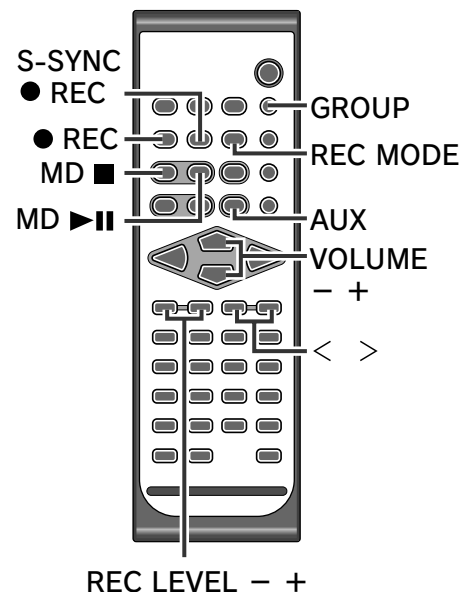
2 タイマー再生またはタイマー録音を設定する。
（「音楽で目覚めたり、留守中に録音する」：☞ P.44〜45：操作❶〜❽）

スリープ時間が過ぎると電源が切れ、タイマーの開始時刻になると電源が自動的に入り、タイマー再生またはタイマー録音が始まります。

他の機器の再生音を聞いたり、録音する

- 接続をする前には、各機器の電源を切ってください。
- 各プラグは確実に差し込んでください。

準備：他の機器の電源を入れる。

他の機器の再生音を聞く

1. ［AUX］を押す。

2. 接続した機器を再生する。
3. この製品の［VOLUME－ ＋］を押して、音量を調整する。

他の機器の再生音を聞いたり、録音する（続き）

他の機器の再生音を録音する

1. 録音用 MD を入れる。
2. ［AUX］を押す。
3. ［● REC］を押して、録音の一時停止状態にする。
4. ［REC MODE］を押して、録音モードを選ぶ。
5. 接続した機器を再生する。
6. ［REC LEVEL － ＋］を押して、録音レベルを調整する。

録音レベル －4dB～＋10dB　レベルメーター 0dB

R. LEV. +4dB ⇨ L R

- 最も大きなレベルで“0dB”をこえないようにします。
- 録音レベルは、－4dB から＋10dB まで2dB ステップで調整することができます。

7. 録音したいところで…［MD ►II］を押す。
録音が始まります。

録音を停止するには

［MD ■］を押す。

他の機器の再生音と同時に録音する（サウンドシンクロ録音）

1. 録音用 MD を入れる。
2. ［AUX］を押す。
3. ［REC MODE］を押して、録音モードを選ぶ。
4. ［S-SYNC ● REC］を押して、録音の一時停止状態にする。
“S-SYNC（サウンドシンクロ）”が点灯します。
5. 接続した機器を再生する。
   - 録音が自動的に始まります。
   - 再生音が入力されなくなると、録音は一時停止します。
   - 録音レベルは前回調整したレベルになります。

●他の機器からグループ録音するとき

① 上の操作の 1 ～ 3 のあと、［GROUP］を押して、“GROUP”を点灯させる。
② ［S-SYNC ● REC］を押して、録音の一時停止状態にする。
③ ［GROUP］を押して、録音したいグループを選ぶ。
④ ［S-SYNC ● REC］を押す。
“S-SYNC（サウンドシンクロ）”が点灯します。
⑤ 接続した機器を再生する。

■ オートマークの設定について

再生音に 1 秒以上無音があるときに曲番を自動的につけることができます。
お買いあげ時は“A.MARK ON（オート マーク オン）”になっています。

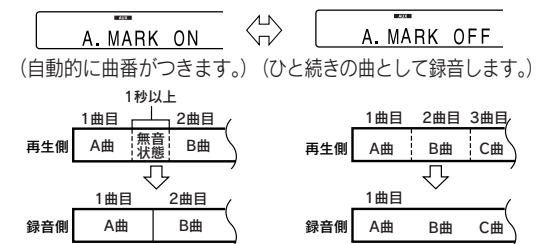
オートマークの設定を切り換えるには

録音の一時停止状態のとき…

本体の［ERASE］を押す。

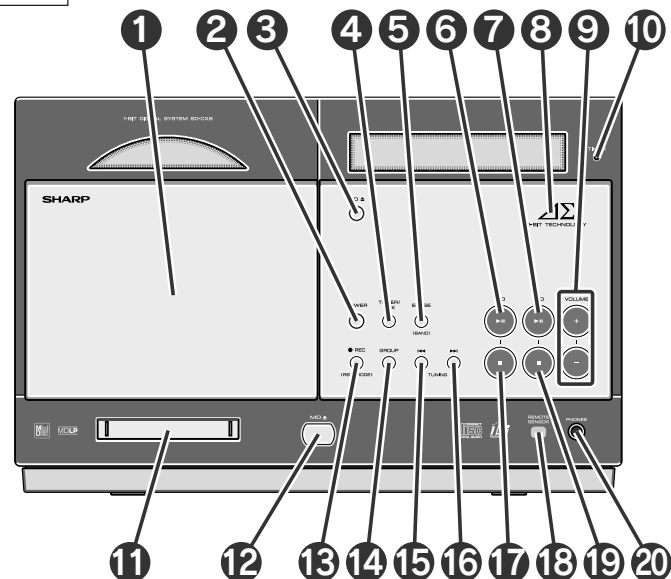
1 回押すと現在の設定を表示し、表示中に続けて押すと、切り換わります。

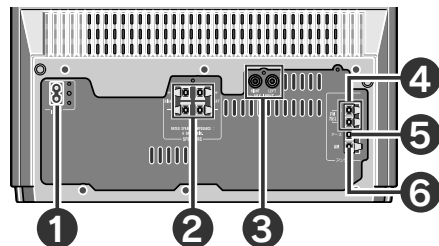
A. MARK ON ⇔ A. MARK OFF

（自動的に曲番がつきます。）（ひと続きの曲として録音します。）

- 曲番が多すぎたり、少ないときは、録音が終わったあとMD編集（コンバイン・デバイド☞ P.40）で曲番を修正してください。
- 接続した機器からの再生音に雑音が多いときは、オートマークが正しく働かないことがあります。

各部のなまえ

前面

参照ページ

1. CD カバー 14
2. 電源ボタン(POWER) 12
3. CD カバー開閉ボタン(CD ⏏) 14
4. チューナー / 補助入力ボタン (TUNER/AUX) .... 19、49
5. 消去 / バンド / オートマーク切換ボタン (ERASE/BAND) .... 19、39、50
6. CD 再生 / 一時停止ボタン (CD ▶❚❚) 14
7. MD 再生 / 一時停止ボタン (MD ▶❚❚) 16
8. 電源表示ランプ 12
9. 音量ボタン (VOLUME ＋ / －) 21
10. タイマー表示 (TIMER) 45
11. MD 挿入口 16
12. MD 取出しボタン(MD ⏏) 17
13. MD 録音 / 録音モード切換ボタン(● REC/REC MODE) .... 24、28
14. グループモード切換 / グループ選択ボタン (GROUP) 25
15. チューニングダウン /CD・MD 早戻しボタン(∨ TUNING / ❙◀◀) .... 15、19
16. チューニングアップ /CD・MD 早送りボタン (TUNING ∧ / ▶▶❙) .. 15、19
17. CD 停止ボタン(CD ■) 14
18. リモコンセンサー (REMOTE SENSOR) 9
19. MD 停止ボタン(MD ■) 16
20. ヘッドホン端子 (PHONES) 11

背面

参照ページ

1. AC 電源端子（AC INPUT） 10
2. スピーカー端子（SPEAKERS） 10
3. 外部入力端子（AUX INPUT） 49
4. FM アンテナ端子（FM 75 Ω） 10
5. アース端子 10
6. AM アンテナ端子（AM） 10

各部のなまえ（続き）

本体表示部

参照ページ

スピーカー

参照ページ

リモコン

※印は、リモコンだけの操作ボタンです。

参照ページ

ＣＤについて

■取り扱いについて

使用できるディスクは？

マークのついているものです。

（CD-R）（CD-RW）

ご注意 ………………………………………………………………

本機は、CD規格（コンパクトディスクデジタルオーディオ）に準拠していない「コピーコントロールCD」などについて動作や音質を保証できません。通常のCD録音／再生時には支障がなく、上記の特殊なディスクのみに支障がある場合には、ディスクやパッケージ、印刷物などの表示をよくお読みの上、詳細についてはディスクの発売元へお問い合わせ願います。

ディスクの再生面は？

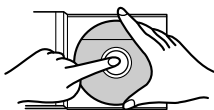
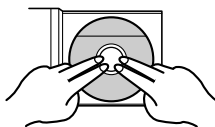
印刷のある面の反対の面です。再生面に触れないでください。

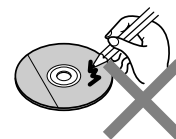
ディスクを持つときは？

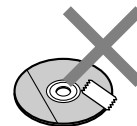
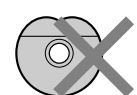
必ずふちを持ってください。

再生面のホコリやキズ、変形などは、雑音や動作不良の原因となることがあります。

ケースからの出し入れは？

<u>出すとき</u>
センターホルダーを押さえ、再生面に触れないように持って出します。

<u>入れるとき</u>
文字のある面を上にして、上から押さえて入れます。

■取り扱い上のご注意

印刷面に硬い鉛筆やボールペンなどで文字を書かないでください。再生面にも影響をおよぼし、動作不良の原因となります。

ラベルやシールを貼らないでください。

セロハンテープやラベルなどののりがはみ出したり、はがしたあとがあるものはお使いにならないでください。そのまま再生すると、故障の原因となることがあります。

特殊形状（ハート型・八角形やふち取りをしているものなど）のディスクは、使用しないでください。
故障の原因となります。

■お手入れ

再生面に汚れがついたときは、やわらかい布で、中央からふちの方向にまっすぐに軽くふき取ってください。

矢印と反対の方向にふいたり、回転方向に回しながらふくと、キズがつくことがあります。

次のものは使用しないでください。

- ベンジンやアルコールなどの溶剤
- 研磨剤を含むクリーナー
- レコード用のクリーナー
- 静電防止剤

■保管上のご注意

ホコリやキズ、変形などを避けるため、必ず専用ケースに入れて保管してください。

次のような所に置かないでください。

- 直射日光が長時間あたる場所。（特に密閉した自動車内等）
- 温度の高い所や湿度の高い所。
- 専用ケースの中に砂やホコリが入りやすい場所。（海辺や砂地等）

MDについて

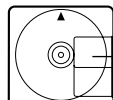
■種類について

MD には、再生専用と録音・再生用があります。

再生専用MD

シャッターが片面（裏面）にあります。

市販の音楽ソフトはこのタイプです。CDと同じ光ディスクを使っています。
録音や編集はできません。

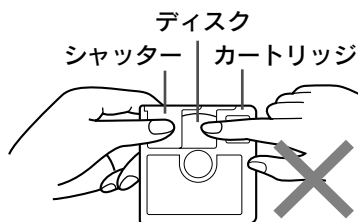
録音・再生用MD

シャッターが両面にあります。

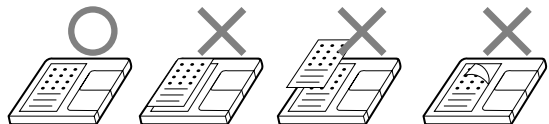
録音もできる「生ディスク」です。光磁気ディスクを使っているため、くり返して録音することができます。

■取り扱いについて

MDはカートリッジに収納されていますので、ホコリ、キズ、指紋などがつきにくくなっています。ただし、カートリッジのすき間から入る砂ボコリやカートリッジのよごれなどが誤動作の原因となることもありますので、次のことに注意してください。

ディスクに直接触れないで！

シャッターを開けて、ディスクに直接触れないでください。
シャッターは無理に開けると壊れます。

■ラベルを貼り付けるときのお願い

必ず次のことをお守りください。正しく貼り付けないと、MD が内部につまって取り出せなくなることがあります。

- 指定の場所（エリア内）に正しく貼る。
（指定エリア以外には貼り付けないでください。）
- ラベルを重ねて貼り付けない。
- ラベルがめくれたり、浮いたりしているときは、新しいラベルに貼り換えて使用する。

■お手入れ

カートリッジ表面にホコリやゴミなどがついたときは、乾いた布でふき取ってください。

■保管上のご注意

ホコリやキズ、変形などを避けるため、必ず専用ケースに入れて保管してください。
次のような所に置かないでください。

- 直射日光が長時間あたる場所。（特に密閉した自動車内等）
- 温度の高い所や湿度の高い所。
- 専用ケースの中に砂やホコリが入りやすい場所。（海辺や砂地等）

■ATRAC（音声圧縮技術）について

ATRAC（アトラック）（Adaptive TRansform Acoustic Coding ）は、人の耳には聞こえない音をカットして音楽データを約 1/5 に圧縮します。
聴覚心理学に基づいてデータが取捨選択されるので、聴感上の音質が損なわれにくくなっています。
この機器では、音楽データを約 1/10 または 1/20 に圧縮する ATRAC3（アトラック）という圧縮方式も採用しています。
この方式を用いることにより、２倍・４倍のステレオ長時間録音を可能としています。

音とびガードメモリー

再生中は常に半導体メモリーに約10秒間の情報を蓄積します。
このため、外部からの衝撃によりピックアップが情報を一時的に読み取れなくなっても、蓄積した情報を送ることによって、音が途切れることなく再生することができます。

“故障かな？”と思ったら

次のようなときは故障でないことがありますので、修理を依頼される前に、もう一度お調べください。それでも具合の悪いときは、62ページの「保証とアフターサービス」をごらんのうえ修理を依頼してください。

■共通

スピーカーから音が出ない。
- ➡ 音量が“0”になっていませんか。 ☞ P.21
- ➡ ヘッドホンをつないでいませんか。 ☞ P.11

再生中に雑音が出る。
- ➡ テレビ、パソコン、携帯電話などの機器が本機の近くにある場合は、離してください。

ボタンを押しているうちに正常な動作をしなくなった。
- ➡ 一度、電源を切り、操作をやり直してください。
それでも動作しないときは、リセット操作をしてください。
☞ P.57

テレビの映像に乱れや雑音が生じる。
- ➡ 室内アンテナを使用しているテレビを近くに置いていると、テレビに映像の乱れや雑音が生じることがあります。
このようなときは、屋外アンテナの使用をおすすめします。

時刻の確認をしたとき、“TIME ADJUST”が表示される。
- ➡ 電源コードを抜いたり、停電がありませんでしたか。
（設定し直してください） ☞ P.13

タイマー再生やタイマー録音が動作しない。
- ➡ 電源コードを抜いたり、停電がありませんでしたか。
時計を合わせ直してください。 ☞ P.13

表示部が暗い。
- ➡ DISPLAYボタンを2秒以上押して、“DIMMER OFF”を選んでください。

■CD

CDを入れても“CD NO DISC”や“Can't READ”が表示される。
- ➡ CDの裏表をまちがえていませんか。
- ➡ CDに汚れやキズがありませんか。
- ➡ 規格外のCDを使用していませんか。
- ➡ 振動の多い不安定な場所で使用していませんか。
- ➡ つゆつき現象が起きていませんか。 ☞ P.57

操作ボタンを押しても動作をしない。
また、曲の途中で止まってしまい、正しい再生をしなくなる。
- ➡ CDに汚れやキズがありませんか。
- ➡ 規格外のCDを使用していませんか。
- ➡ 振動の多い不安定な場所で使用していませんか。
- ➡ つゆつき現象が起きていませんか。 ☞ P.57

再生音がとぎれる。
- ➡ CDに汚れやキズがありませんか。
- ➡ 振動の多い不安定な場所で使用していませんか。
- ➡ つゆつき現象が起きていませんか。 ☞ P.57

■MD

MDを入れても“MD NO DISC”や“Can't READ ※”が表示される。再生音がとぎれる。
- ➡ ディスクにキズがついていませんか。
- ➡ 振動の多い不安定な場所で使用していませんか。
- ➡ つゆつき現象が起きていませんか。 ☞ P.57

録音ができない。
- ➡ MDの誤消去防止ツマミが開いていませんか。 ☞ P.22
- ➡ 再生専用MD（市販の音楽ソフト）に録音しようとしていませんか。 ☞ P.55
- ➡ “TOC FULL”や“DISC FULL”になっていませんか。 ☞ P.58

グループ録音したMDでグループが使えなくなった。
また、名前が正しく表示されない。
- ➡ 他の機器でTOCデータが書きかえられた可能性があります。

■ラジオ

放送に“シー”、“ザー”という連続音が入る。

➡ テレビやコンピュータ、ワープロなどの近くでラジオ放送を受信すると雑音が入ります。このようなときは、雑音の発生しやすいところから離してみてください。
➡ アンテナの方向が悪くありませんか。 ☞ P.11

放送がよく受信できない。雑音も多い。

➡ アンテナ線の近くに電源コードがある場合は離してください。
➡ 受信状態が改善されない場合は、屋外アンテナを設置する方法もあります。 ☞ P.12

登録した放送局を呼び出すことができない。

➡ 電源コードを抜いたり、停電がありませんでしたか。登録し直してください。 ☞ P.20
➡ リセット操作をしませんでしたか。登録し直してください。 ☞ P.57

■リモコン

リモコンで操作できない。

または、正しい動作をしない。

➡ 乾電池の⊕ ⊖の向きが逆になっていませんか。 ☞ P.9
➡ 乾電池が消耗していませんか。
➡ リモコンの送信部を本体のリモコンセンサーに正しく向けていますか。 ☞ P.9
➡ リモコンセンサーと距離が遠すぎませんか。または、近すぎませんか。 ☞ P.9
➡ リモコンセンサーに強い光(インバーター蛍光灯や直射日光など)があたっていませんか。 ☞ P.9
➡ 他の機器のリモコンを同時に操作していませんか。

リモコンで電源が入らない。

➡ 電源コードはつながっていますか。 ☞ P.10

つゆつき現象について

次のようなときには、内部のレンズやディスクにつゆ(水滴)がつくことがあります。
- 暖房をつけた直後。
- 湯気や湿気が立ちこめている部屋に置いてあるとき。
- 冷えた場所(部屋)から急に暖かい部屋に移動したとき。

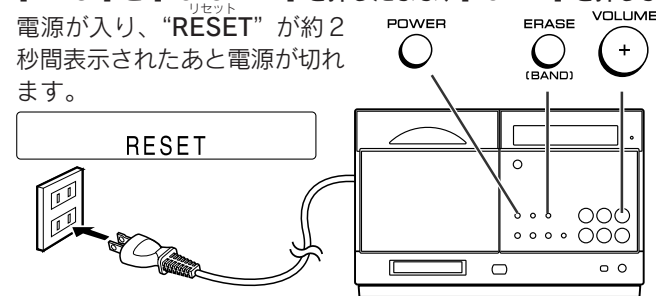
つゆがつくと……ディスクの信号が読み取れず、この製品が正常な動作をしないことがあります。

つゆを取るには…ディスクを取り出して電源を入れておけば、約1時間位でつゆが取り除かれ、正常な動作をするようになります。

異常が起きたら

この製品を使用中に、強い外来ノイズ(衝撃、過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常など)を受けたときや誤った操作をしたときなどに、正しく表示しなくなったり、操作を受けつけなくなるなどの異常が発生することがあります。
このようなときは、次のようにリセット操作をしてください。

リセット操作

❶ **電源コードをコンセントに差します。**
❷ **[ERASE] と [VOLUME＋] を押したまま、[POWER] を押します。**
電源が入り、“RESET(リセット)”が約2秒間表示されたあと電源が切れます。

ご注意 ……………………………………………………
リセット操作をすると、登録した内容は消え、各種の設定はお買いあげ時の状態に戻ります。

9 章 ご参考

こんな表示が出たときは

表　示	意　味	このようにしてください
BLANK MD	・何も記録されていない。（音楽もディスク名も記録されていない。）	・再生するときは、録音された MD と取り換える。
Can't COPY	・コピー禁止の CD から録音しようとした。	・コピー可能な CD から録音する。
Can't EDIT	・MD 編集できない。	・別の曲を編集してみる。 ・グループトップムーブ、グループチェンジができないときは、不要なタイトルを消す。
Can't READ ※ （※は数字や記号です。）	・ディスクにキズがある。 ・TOC 情報が読めない。 ・規格外の CD や MD。 ・ディスクが表裏逆。 ・情報が記録されていない CD-R、CD-RW を入れた。	・CD や MD を入れ直すか、取り換える。 ・オールイレースをして、録音をやり直す。
Can't REC	・ショックやディスクのキズで正しく録音できなかった。	・録音をやり直すか、MD を換えてみる。
Can't T REC	・タイマー録音ができない。または、MD に録音できる空きがない。	・他の録音用 MD と取り換える。
Can't WRITE	・ショックやディスクのキズで TOC 情報が正しく作成できない。	・電源を切って、もう一度書き込みをしてみる。 書き込み中はショックを与えないでください。
CD NO DISC	・CD が入っていない。 ・CD が表裏逆。	・CD を入れる。 ・CD を入れ直す。
DISC FULL	・MDに録音できる空きがない。	・他の録音用 MD と取り換える。
EDIT OVER	・MD の録音時間が足らない。	・録音時間のあるMDと取り換える。
Er-AP ※※ （※※は数字や記号です。）	・アンプ動作異常	・電源を切って、再度電源を入れてみる。それでもエラー表示が出るときは、お買いあげの販売店に修理をお申しつけください。
Er-PO	・MD 動作異常。	・電源を切って、再度電源を入れてみる。それでもエラー表示が出るときは、お買いあげの販売店に修理をお申しつけください。
Er-MD ※※ （※※は数字や記号です。）	・MDが正しく働いていない。	・MD 取出しボタンを押してみる。 ・電源を切って、再度電源を入れてみる。それでもエラー表示が出るときは、お買いあげの販売店に修理をお申しつけください。
GROUP DISC	・グループ録音したＭＤをグループモードに設定しないで編集をしようとした。	・グループモードに設定して編集をする。
GROUP FULL	・グループ数が99をこえている。	・不要なグループを消す。
MD NO DISC	・MD が入っていない。 ・MD のデータが読めない。	・MD を入れる。 ・MD をもう一度入れ直す。
NAME FULL	・ディスク名･グループ名･曲名が40文字をこえている。	・ディスク名・グループ名・曲名を短くする。
NO TRACK	・再生、編集する曲がない。	・曲のあるグループ、ノングループを選択する。
NOT AUDIO	・オーディオ用でないデータが記録されている。	・CD や MD を取り換える。
PLAYBACK MD	・再生専用 MD に録音や編集をしようとした。	・録音用 MD と取り換える。
PROTECTED	・MDの誤消去防止ツマミが開いている。	・誤消去防止ツマミを閉じる。
TEMP OVER	・温度が高くなりすぎた。	・電源を切ってしばらく置いておく。
TOC FORM ※※ （※※は数字や記号です。）	・記録されている TOC 情報がMDの規格に合っていなかったり、読めない。	・他の MD と取り換える。 ・オールイレースをして、録音をやり直す。
TOC FULL	・曲番を登録する空きがない。	・他の MD と取り換える。

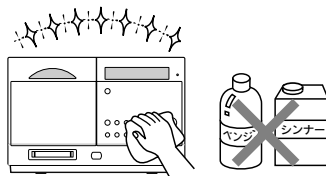
表示	意味	このようにしてください
TOC(トック) FULL(フル) 1	・TOCに文字情報を登録する空きがない。 ・グループ録音ができない。 ・グループエントリーができない。	・他のMDと取り換える。 ・不要な文字を消す。 ・不要なディスク名・グループ名・曲名を消す。
WAIT(ウェイト) ※※ m ↓ GUARD(ガード) (※※は数字です。)	・倍速での録音ができない。	・表示された時間だけ録音を待つか、定速で録音する。
? DISC(ディスク)	・データに異常がある。 ・規格外のMD。 ・MDが正しく入っていない。	・他のMDと取り換える。 ・MD取出しボタンを押してみる。
? GrForm.(グループフォーム) ↓ NewForm.OK?(ニュー フォーム)	・グループ録音ができない。 ・グループエントリーができない。	・グループモードを解除する。 ・ENTER(エンター)ボタンを押して、ディスク名を消す。(☞ P.22)

MDのシステム上の制約

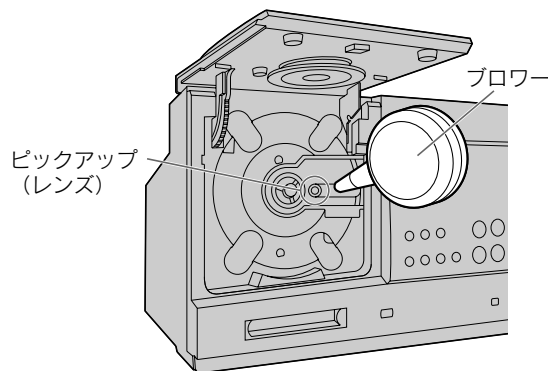
こんなとき	このような制約があります
MDの最大録音時間に満たなくても“DISC(ディスク) FULL(フル)”が表示されることがあります。	・ディスクにキズなどがあると、その部分は自動的に録音不可となるため、録音時間が少なくなります。 ・最大録音曲数(255曲)まで録音されたMDは、それ以上録音することはできません。
MDの最大録音曲数(255曲)に満たなくても“TOC(トック) FULL(フル)”が表示されることがあります。	・MDシステムでは、TOC(トック)にMD上の録音場所の区切りが登録されます。 何度も部分的に消去して録音をしたり、編集をくり返すと、曲数が最大(255曲)にならなくても、TOC(トック)の情報がいっぱいになり、録音できなくなります。 (このようなMDは、オールイレースを行なえば最初から使用できます。)
短い曲を何曲消しても録音の残り時間が増えないことがあります。	・MDの録音残り時間を表示するとき、12秒以下の短い曲などは、曲として数えられないことがあります。
MDに録音した時間と残りの時間の合計が最大録音時間と一致しないことがあります。	・通常は、1クラスタ(約2秒)を録音の最小単位としていますが、これに満たない曲でも約2秒のスペースを使います。このため、表示された残り時間よりも実際に録音できる時間が少なくなることがあります。 また、MDにキズなどがあると、その部分は自動的に録音不可となるため、録音時間が少なくなります。
編集で曲と曲とをつなげられないことがあります。	・録音、編集をくり返して行ったMDでは、コンバイン機能を使えないことがあります。 CDから録音した曲(デジタル録音)とラジオ放送や他の機器から録音した曲(アナログ録音)をつなぐことはできません。 ・録音モード(モノラル録音、ステレオ録音、2倍長時間録音、4倍長時間録音)の異なる曲をつなぐことはできません。
録音された曲を早送り/早戻しすると、音がとぎれることがあります。	・録音、編集をくり返して行ったMDでは、早送り/早戻し中に音がとぎれることがあります。
名前の先頭に“LP:”を入力すると“LP:”が表示されないことがあります。	・2倍、4倍長時間録音(LP2・LP4)した曲の曲名の先頭に“LP:”を入力すると、“LP:”が表示されません。“LP”のあとに“:”以外の記号や文字を入力してください。

お手入れについて

■ 本体のお手入れ

• やわらかい布で軽くふき取ってください。
• 汚れがひどいときは､水にひたした布をよくしぼってふき取り､乾いた布で仕上げてください。

ご注意
ベンジン、シンナーなどは使わないでください。
変質したり、塗料がはげることがあります。

■ CD ピックアップのお手入れ

ピックアップ（レンズ）にホコリや汚れがつくと、音とびを起こしたり、正しく動作をしないことがあります。
ホコリがついたときは、市販のカメラレンズ清掃用のブロワーなどで清掃してください。

ご注意
• **ピックアップ（レンズ）は手でさわらないように気をつけてください。**
• 使わないときはCD ブタを閉じておいてください。
• レンズにキズをつけないように気をつけてください。

音楽著作権について

放送やレコード、ディスク、テープなどの音楽作品は著作権法によって保護されています。したがって、次のような場合には権利者の許諾が必要です。

■ 放送やレコード、ディスク、テープなどから録音したテープ、MDを売る、配る、譲る、貸すときなど。

■ 営利（店のBGMなど）のために、レコード、ディスク、テープなどを演奏するとき。

● くわしい内容や申請、その他の手続きについては「音楽著作権協会」の本部またはもよりの支部へお問い合わせください。
● この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。

お問い合わせ先：（社）私的録音補償金管理協会　☎(03) 5353-0336

日本音楽著作権協会

本部	☎(03) 3481－2121	横浜支部	☎(045) 662－6551
北海道支部	☎(011) 221－5088	静岡支部	☎(054) 254－2621
盛岡支部	☎(019) 652－3201	中部支部	☎(052) 583－7590
仙台支部	☎(022) 264－2266	北陸支部	☎(076) 221－3602
長野支部	☎(026) 225－7111	京都支部	☎(075) 251－0134
大宮支部	☎(048) 643－5461	大阪支部	☎(06) 6244－0351
上野支部	☎(03) 3832－1033	神戸支部	☎(078) 322－0561
東京支部	☎(03) 3562－4455	中国支部	☎(082) 249－6362
西東京支部	☎(03) 5321－9530	四国支部	☎(087) 821－9191
東京イベント・コンサート支部	☎(03) 5321－9881	九州支部	☎(092) 441－2285
		鹿児島支部	☎(099) 224－6211
立川支部	☎(042) 529－1500	那覇支部	☎(098) 863－1228

仕様

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

ミニディスク部

形式	ミニディスクデジタルオーディオシステム
録音方式	磁界変調オーバーライト方式
読み取り方式	非接触光学式読み取り方式（半導体レーザー使用）
回転数	約400〜900 rpm
エラー訂正方式	アドバンスド クロス インターリーブ リードソロモン コード（ACIRC）
音声圧縮/伸長方式	ATRAC(Adaptive TRansform Acoustic Coding) / ATRAC3 24 ビット演算方式
チャンネル数	ステレオ2チャンネル/モノラル（長時間モード）1チャンネル
サンプリング周波数	44.1 kHz
周波数特性	20〜20,000 Hz（+1/-3dB）（JEITA）
ワウ・フラッター	測定限界（±0.001%W.PEAK）以下（JEITA）

コンパクトディスクプレーヤー部

形式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
読み取り方式	非接触光学式読み取り方式（半導体レーザー使用）
チャンネル数	ステレオ2チャンネル
周波数特性	20〜20,000 Hz（+1/-3dB）（JEITA）
ワウ・フラッター	測定限界（±0.001%W.PEAK）以下（JEITA）

チューナー部

受信周波数	FM：76.0〜108.0 MHz（TV音声 1〜3CH） AM：522〜1,629 kHz
回路方式	クオーツデジタルシンセサイザー方式 スーパーヘテロダインFM/AMチューナー
アンテナ	FM（遠／近）、AM、アース

タイマー／時計部

形式	デジタルクロック
タイマー	1日1回 ON/OFF可能

リモコン部

電源	DC 3 V（付属単3乾電池×2個）

アンプ／共通部

実用最大出力	40W（20W+20W）（JEITA）
A/Dノイズシェーピング	7次 ⊿Σ（デルタシグマ）変調
入力端子	アナログ外部入力：500mV（47kΩ） ピンジャック（L/R）×1
出力端子	スピーカー出力：　4Ω ヘッドホン出力：　16〜50Ω（推奨32Ω） 直径3.5mmステレオミニジャック×1
電源	100V AC、50/60 Hz
消費電力	AC 48W
最大外形寸法	318（幅）×209（高さ）×210（奥行）mm（JEITA）
質量	約4.6 kg

スピーカー部

形式	バスレフ型（スピーカーネット脱着式）
スピーカー	ウーハー　：12 cm ツイーター：2 cmソフトドーム型
インピーダンス	4Ω
最大入力	40W
最大外形寸法	150（幅）×293（高さ）×181（奥行）mm（JEITA）
質量	約2.5 kg×2

※ スピーカーは、防磁対応されていません。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

保証書（別添）

- 保証書は「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。
  保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。
- **保証期間**
  お買いあげの日から１年間です。
  保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の保有期間

- 当社は、1ビットデジタルシステムの補修用性能部品を製造打切後、８年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

- 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口（63ページ）にお問い合わせください。

愛情点検

長年ご使用のオーディオ機器の点検を！

このような症状はありませんか？

- 電源コードやプラグが異常に熱い
- コゲくさい臭いがする
- 電源コードに深いキズや変形がある
- その他の異常や故障がある

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は、販売店にご相談ください。

修理を依頼されるときは　出張修理

- 「“故障かな？”と思ったら」（56～57ページ）を調べてください。それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

■ ご連絡していただきたい内容

品　　名：1ビットデジタルシステム
形　　名：SD-CX8
お買いあげ日　（ 年 月 日）
故障の状況　（できるだけ具体的に）
ご　住　所　（付近の目印も合わせてお知らせください。）
お　名　前
電話番号
ご訪問希望日

■ 便利メモ

お客様へ…
お買いあげ日・販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販売店名
年　月　日	電　話（　　　　）　－

■ 保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

■ 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できるときには、ご希望により有料で修理させていただきます。

■ 修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買いあげの販売店へご連絡ください。

転居や贈答品などで、保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記窓口にご相談ください。

- **製品の故障や部品のご購入に関するご相談は・・・ 修理相談センター へ**
- **製品のお取扱い方法、その他ご不明な点は・・・・・ お客様相談センター へ**

お客様相談センター

■ 受付時間： ＊月曜～土曜：午前9時～午後6時
＊日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）

東日本相談室	TEL **043-297-4649**	FAX **043-299-8280**
	〒261-8520　千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2	
西日本相談室	TEL **06-6621-4649**	FAX **06-6792-5993**
	〒581-8585　大阪府八尾市北亀井町3-1-72	

● 所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。

修理相談センター

● 修理相談センター（沖縄・奄美地区を除く）

■ 受付時間：＊月曜～土曜：午前9時～午後6時　＊日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）

0570-02-4649
当ダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
呼出音の前に、ＮＴＴより通話料金の目安をお知らせ致します。
（注）携帯電話・ＰＨＳからは、下記電話におかけください。

		<東日本地区>	<西日本地区>
○ 携帯電話／ＰＨＳでのご利用は・・・	（一般電話）	043-299-3863	06-6792-5511
○ ＦＡＸを送信される場合は・・・・・・・	（ＦＡＸ）	043-299-3865	06-6792-3221

○ 沖縄・奄美地区については、下表の「那覇サービスセンター」にご連絡ください。

◎ **持込修理および部品購入のご相談**は、上記「修理相談センター」のほか、下記地区別窓口にても承っております。

■ 受付時間：＊月曜～土曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）
〔但し、沖縄・奄美地区〕は・・・・＊月曜～金曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）

担当地域	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
北海道地区	札幌 サービスセンター	011-641-4685	〒063-0801	札幌市西区二十四軒1条7-3-17
東北地区	仙台 サービスセンター	022-288-9142	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3-1-27
関東地区	さいたまサービスセンター	048-666-7987	〒330-0038	さいたま市宮原町2-107-2
	宇都宮 サービスセンター	028-637-1179	〒320-0833	宇都宮市不動前4-2-41
	東京テクニカルセンター	03-5692-7765	〒114-0013	東京都北区東田端2-13-17
	多摩 サービスセンター	042-586-6059	〒191-0003	日野市日野台5-5-4
	千葉 サービスセンター	047-368-4766	〒270-2231	松戸市稔台295-1
	横浜 サービスセンター	045-753-4647	〒235-0036	横浜市磯子区中原1-2-23
東海地区	静岡 サービスセンター	0543-44-5781	〒424-0067	清水市鳥坂1170
	名古屋 サービスセンター	052-332-2623	〒454-8721	名古屋市中川区山王3-5-5
北陸地区	金沢 サービスセンター	076-249-2434	〒921-8801	石川郡野々市町御経塚4-103
近畿地区	京都 サービスセンター	075-672-2378	〒601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町48
	大阪テクニカルセンター	06-6794-5611	〒547-8510	大阪市平野区加美南3-7-19
	神戸 サービスセンター	078-453-4651	〒658-0082	神戸市東灘区魚崎北町1-6-18
中国地区	広島 サービスセンター	082-874-8149	〒731-0113	広島市安佐南区西原2-13-4
四国地区	高松 サービスセンター	087-823-4901	〒760-0065	高松市朝日町6-2-8
九州地区	福岡 サービスセンター	092-572-4652	〒816-0081	福岡市博多区井相田2-12-1
沖縄・奄美地区	那覇 サービスセンター	098-861-0866	〒900-0002	那覇市曙2-10-1

● 所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。

● 製品についてのお問い合わせは‥

お客様相談センター	東日本相談室	TEL **043-297-4649**	FAX **043-299-8280**
	西日本相談室	TEL **06-6621-4649**	FAX **06-6792-5993**

《受付時間》 月曜～土曜：午前９時～午後６時　日曜・祝日：午前10時～午後５時（年末年始を除く）

● 修理のご相談は‥　63ページ記載の『**お客様ご相談窓口のご案内**』をご参照ください。

● シャープホームページ　**http://www.sharp.co.jp/**

シャープ株式会社

本　　　　　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号

AVシステム事業本部　〒739-0192　東広島市八本松飯田２丁目13番１号

Printed in Malaysia
TINSJ0150AWZZ
03E R HK ③